

Panasonic®

操作説明書

IP会議ホンマネージャー

品番 **KX-NCS7101N**



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

● 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

はじめに

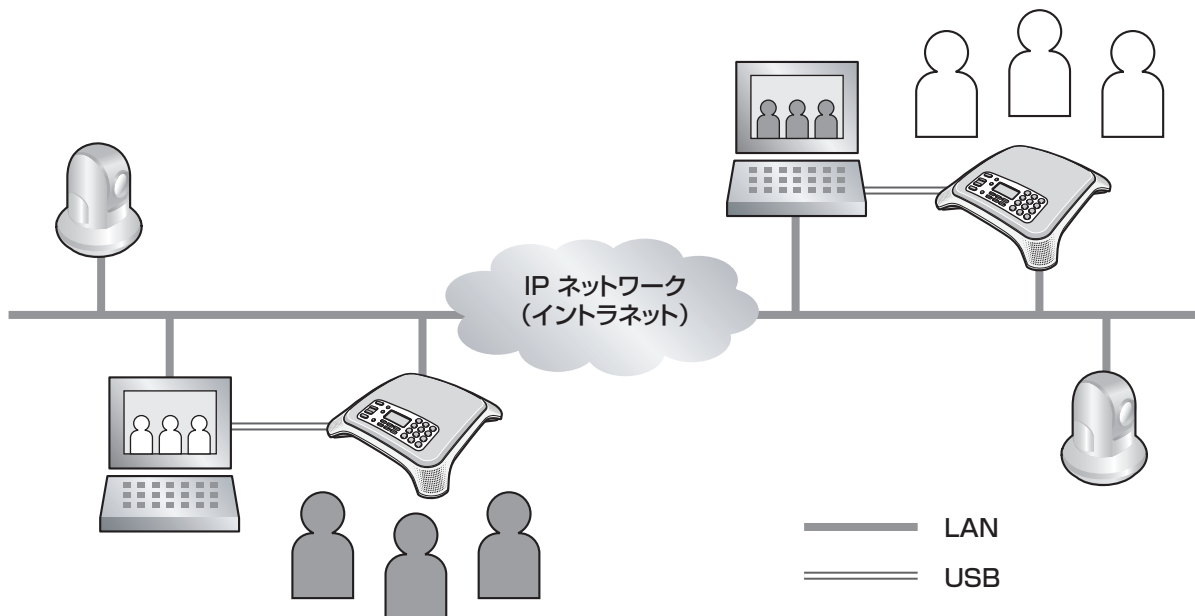
IP会議ホンマネージャーを使用してこんなことができます。

ここでは、IP会議ホンマネージャーの特長を説明します。

ビデオ会議

パナソニック製ネットワークカメラ（別売）と連携させることで、電話をかけるだけで簡単にビデオ会議を開始できます。音声と映像により、相手側の状況が把握できるので、電話よりも臨場感のある会議が実現できます。（56 ページ参照）

また、相手のカメラをコントロールすることができ、会議中に自分の見たい方向を映せるので便利です。（34 ページ参照）

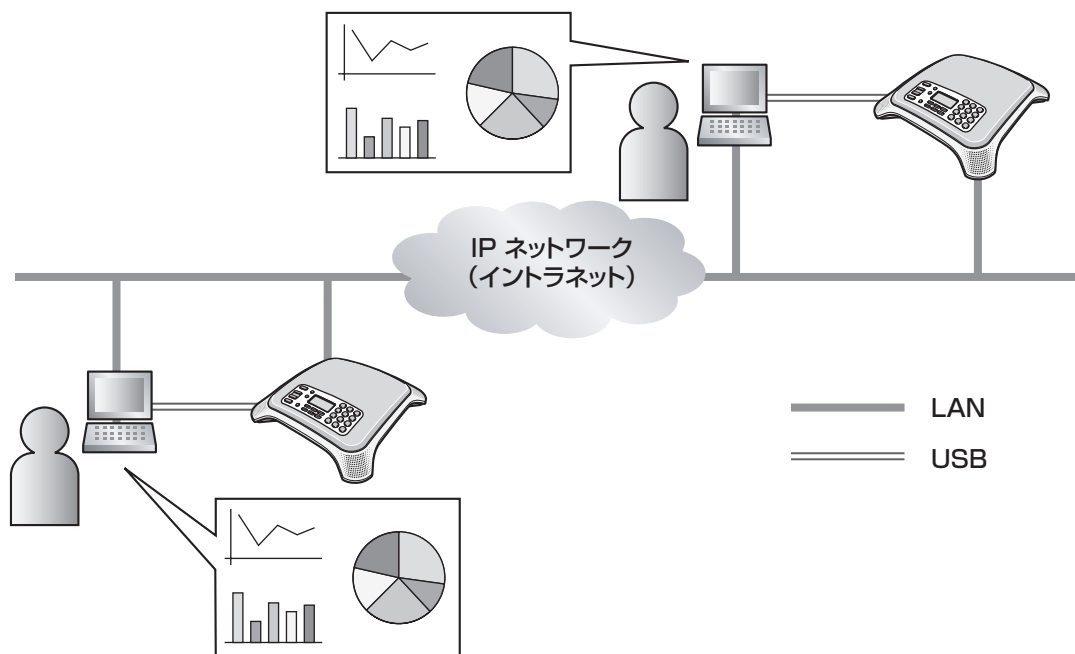


ビデオ会議を行うための条件は、以下のとおりです。

- IP回線を使用時の2者通話時のみ
- お互いのパソコンにIP会議ホンマネージャーがインストールされている
- パソコンと同じLAN内にネットワークカメラが接続されている
- 使用するネットワークカメラが登録されている

アプリケーションの共有

通話相手と、パソコン上のファイル（Microsoft PowerPointで作成した文書など）を同時に閲覧したり、お互いのパソコンから編集することができます。相手側にアプリケーションがなくても共有することができ、会議を進めながら、資料の作成や議事録の作成を行うことができます。また、デスクトップやパソコンのホワイトボードを共有することもできます。（58 ページ参照）



アプリケーションの共有を行うための条件は、以下のとおりです。

- IP回線を使用している2者通話時のみ
- お互いのパソコンにIP会議ホストマネージャーがインストールされている

電話帳や発着信履歴を使用している通話

パソコンの画面上から、電話帳や発着信履歴を使用して、電話をかけることができます。連絡先や履歴の検索、編集が簡単にでき、便利です。

本体の設定

パソコンから、本体の様々な設定を行うことができます。（63 ページ参照）

その他

パソコンの画面について

- 本書では、パソコンの起動操作については記述を省略しています。
- Microsoft Corporationのガイドラインに従って画面写真を使用しています。

商標および登録商標について

- Microsoft®、Windows®、Outlook®、およびPowerPoint®は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Windows XP の正式名称は、Microsoft Windows XP operating systemです。
- Intel®、Pentium®およびCeleron®は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporationの商標です。
- 本書に記載の会社名・ロゴ・製品名・ソフトウェア名は、各会社の商標または登録商標です。

本書の表記について

- 本書では、KX-NT700Nのことを「本体」と表記しています。
- 本書では、IP会議ホンマネージャーのことを「CPM」（Conferencing Phone Manager）と表記している場合があります。

ネットワーク帯域について

- ビデオ会議とアプリケーションの共有を同時に行った通話に必要なネットワーク帯域は2Mbps程度となります。

もくじ

ご使用の前に	8
ご使用にあたってのお願いとお知らせ	8
お客様の大切な情報を保護するために	8
IP会議ホンマネージャーをインストールする	9
IP会議ホンマネージャーをインストールする	9
IP会議ホンマネージャーのライセンス登録をする	10
IP会議ホンマネージャーのライセンス登録をする	10
USBドライバーをインストールする	11
USBドライバーをインストールする	11
IP会議ホンマネージャーをアンインストールする	12
IP会議ホンマネージャーをアンインストールする	12
IP会議ホンマネージャーを起動する／終了する	13
IP会議ホンマネージャーを起動する	13
IP会議ホンマネージャーを終了する	13
画面について	14
メイン画面の見かた	14
電話帳画面について	19
履歴画面について	21
通話画面について	24
メンテナンス画面について	27
操作パネル画面の見かた	29
操作パネルディスプレイについて	31
ソフトボタンについて	32
ビデオ会議画面の見かた	34
ネットワークカメラ映像の切り替え	38
電話をかける／受ける	40
電話をかける	40
IP回線／一般電話回線から電話をかける	40
3者通話をする	41
電話を受ける	42
通話中の便利な機能	44
電話帳を使う	45
電話帳に登録する	45
電話帳を使用して電話をかける	48
修正する	48
削除する	49

連絡先の情報を別の電話帳に転送する	50
電話帳をバックアップする	50
履歴を使う	52
履歴を使用して電話をかける	52
電話帳に登録する	52
削除する	53
履歴を分類して表示する	55
ネットワークカメラと連携して使う	56
ネットワークカメラと連携して使う	56
アプリケーションを共有する	58
アプリケーションを共有する	58
IP会議ホンマネージャーを設定する	61
IP会議ホンマネージャーの設定を変更する	61
IP会議ホンマネージャーの設定項目について	62
全般	62
ビデオ会議	62
本体を設定する	63
本体の設定を変更する	63
本体を再起動する	63
本体の設定項目について	65
システム状態確認	65
動作モード	65
基本設定	65
回線選択	66
電話設定	66
IPネットワーク設定	67
プロトコル設定	68
VoIP設定	69
QoS設定	70
初期化	70
再起動	71
IP会議ホンマネージャーをバージョンアップする	72
IP会議ホンマネージャーをバージョンアップする	72
困ったとき	73
困ったとき	73
基本動作について	73
発着信について	73
電話帳について	75

機能の設定について	76
ビデオ会議について	76
アプリケーションの共有について	77
バージョンアップについて	77
索引	78

ご使用にあたってのお願いとお知らせ

お客様の大切な情報を保護するために

お客様固有の情報の流出による、不測の損害を回避するため、下記事項をお守りください。

本製品の不正使用による損害に対し、弊社は責任を負いかねます。

- 本製品は、適切に管理されたLAN上で使用し、不正アクセスが行われないようにしてください。
- 使用するパソコンのセキュリティは、常に最新の状態にしてください。

情報の損失を防ぐために

- 登録した電話帳のデータは、パソコンに定期的にバックアップするようにしてください。

情報の流出を防ぐために

- 不特定多数の人が出入りするような場所に、パソコンを放置しないようにしてください。
- 重要な情報を保存する場合は、使用するパソコンを適切な場所で管理するようにしてください。
- 重要な個人情報、本製品に登録しないようにしてください。
- 本製品を起動したまま席を離れないようにしてください。
- 下記のような場合は、電話帳など必要な利用者情報はメモなどに控え、IP会議ホンマネージャーをアンインストールしてください。(12 ページ参照)
 - パソコンを譲渡・廃棄する場合
 - パソコンを貸し出す場合
 - パソコンを修理に出す場合
- 本製品は、お客様固有のデータ（電話帳や発信履歴など）を登録または保持可能な製品です。製品内のデータ流出等の不測の損害等を回避するために、パソコンを廃棄（または譲渡、返却）される際には、製品内に登録または保持されたデータを必ず消去してください。

ネットワーク上での情報の漏洩を防ぐために

- 重要な会議に使用する場合は、盗聴対策のとられているネットワーク上で本製品を使用してください。

IP会議ホンマネージャーをインストールする

パソコンの動作環境について

対応OS

Microsoft Windows XP（全エディション）

ハードウェア仕様

- CPU：Intel PentiumまたはCeleron 1 GHz、もしくはそれに相当するCPU以上
- ハードディスク：1 GB 以上の空き領域
- メモリ：1 GB以上

インストールする

以下の手順に従って、パソコンにIP会議ホンマネージャーをインストールしてください。

- 1 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする
- 2 トップ画面から「IP会議ホンマネージャー」をクリックする
 - 「Setup.exe」に関するダイアログボックスが表示されます。
- 3 「OK」をクリックする
 - 「Setup.exe」を含むフォルダが表示されます。
- 4 「Setup.exe」をダブルクリックする
 - インストール時の言語を選択する画面が表示されます。
- 5 インストールプログラムの言語を選択し、「OK」をクリックする
 - セットアップウィザードが表示されます。
- 6 IP会議ホンマネージャーのセットアップウィザードの指示に従って、IP会議ホンマネージャーをインストールする
 - Windowsロゴテストに合格していない旨のメッセージが表示される場合がありますが、問題ありませんので「続行」をクリックしてください。
- 7 「完了」をクリックする
 - 「起動 IP会議ホンマネージャー」にチェックを入れていると、IP会議ホンマネージャーが起動します。

- インストールが完了すると、デスクトップ上にショートカットアイコンが表示されます。

右記のアイコンをダブルクリックすると、IP会議ホンマネージャーが起動します。



IP会議ホンマネージャーの ライセンス登録をする

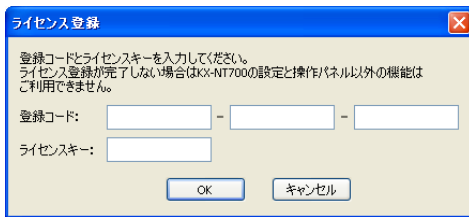
IP会議ホンマネージャーを使用するために、ライセンス登録を行う必要があります。CD-ROMに同梱されているラベルの登録コードとライセンスキーをお確かめください。

お願い

- 登録コードとライセンスキーが記載されたラベルは、CD-ROMケースなどに貼り、紛失しないようにしてください。
- 体験版ソフトをご使用の場合は、ライセンス登録を行う必要はありません。


起動時にライセンス登録をする

1. IP会議ホンマネージャーを起動する
 - 登録を促す画面が表示されます。



2. 登録コードとライセンスキーを入力する
 - ライセンス登録後はこの画面は表示されません。
3. 「OK」をクリックする

ライセンス登録状況を確認する

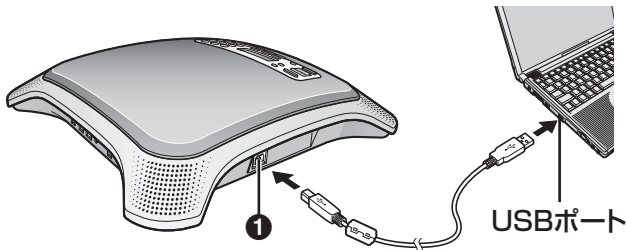
1.  **メンテナンス** をクリックする
2. 「ライセンス」をクリックする
 - 登録コードとライセンスキー情報が表示されます。
3. 「OK」をクリックする

お知らせ

- 体験版ソフトをご使用の場合は、本画面で試用期間の残日数を確認することができます。

USBドライバーをインストールする

- 1 付属のUSBケーブルを本体のUSBポート (❶) とパソコンのUSBポートに接続する



お願い

- 付属のUSBケーブル以外で、本体とパソコンを接続しないでください。
- 本体に対応したUSBドライバーのセットアップウィザードがパソコンの画面上に表示されますので、「次へ」をクリックしてインストールしてください。
セットアップウィザードが表示されない場合は、本体の「**ドウサ モード**」を「**Peer to Peer**」または「**SIP Phone**」に設定してください。本体の動作モードを設定するには、本体の取扱説明書（詳細版）「動作モードを設定する」を参照してください。

- 2 「ソフトウェアを自動的にインストールする（推奨）」を選択し、「次へ」をクリックする

- Windowsロゴテストに合格していない旨のメッセージが表示される場合がありますが、問題ありませんので「続行」をクリックしてください。

- 3 「完了」をクリックする

IP会議ホンマネージャーをアンインストールする

IP会議ホンマネージャーをアンインストールする必要がある場合は、以下の手順に従ってください。

お知らせ

- IP会議ホンマネージャーをアンインストールすると、IP会議ホンマネージャーに登録されている電話帳（CPM電話帳）や発着信履歴の情報は全て削除されます。必要な情報は、アンインストール前に別途控えるようにしてください。

1 「スタート」 → 「すべてのプログラム」 →

「Panasonic」 → 「Conferencing Phone Manager」 → 「Uninstall」 をクリックする

- アンインストールを確認するダイアログボックスが表示されます。

2 「はい」 をクリックする

- 電話帳と履歴の情報の削除を確認するダイアログボックスが表示されます

3 「はい」 をクリックする

- IP会議ホンマネージャーのアンインストールが始まります。アンインストール完了後、完了を示すダイアログボックスが表示されます。

4 「完了」 をクリックする

IP会議ホンマネージャーを起動する

以下の方法でIP会議ホンマネージャーを起動することができます。

– アイコンから起動する

デスクトップのショートカットアイコンをダブルクリックする



– スタートメニューから起動する

「スタート」 → 「すべてのプログラム」 → 「Panasonic」 → 「Conferencing Phone Manager」 → 「Conferencing Phone Manager」 をクリックする

お知らせ

- 本体の動作モードが「USB Audio」に設定されている場合、IP会議ホンマネージャーは使用できません。本体の動作モードを変更するには、本体の取扱説明書（詳細版）「動作モードを設定する」を参照してください。

IP会議ホンマネージャーを終了する

以下の方法でIP会議ホンマネージャーを終了することができます。

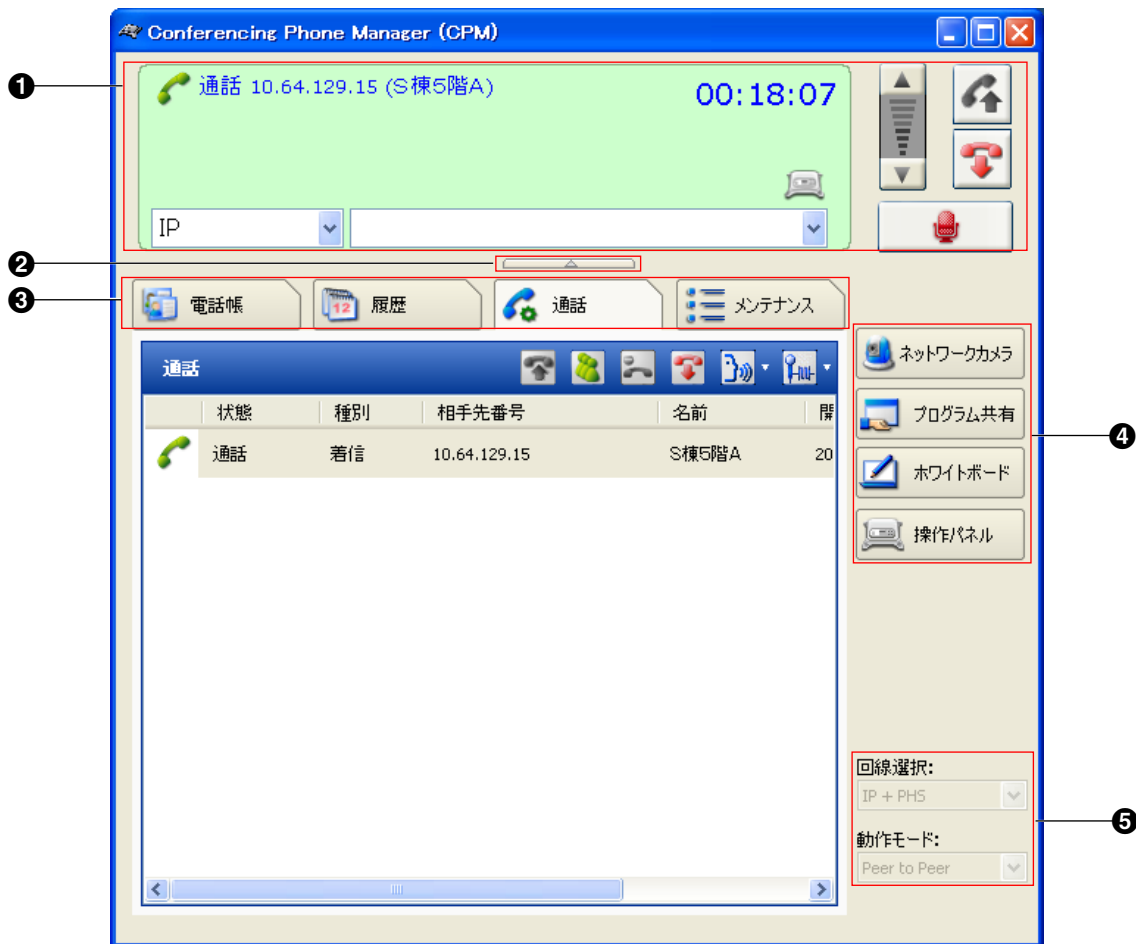
- 画面右上の  をクリックする

メイン画面の見かた

IP会議ホンマネージャーを起動すると、下記の画面が表示されます。


お願い


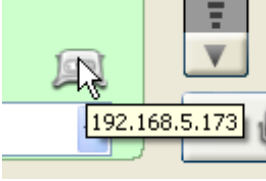

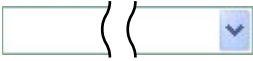



- 本体の設定が終わっていない場合、機能の設定画面が表示されます。ご使用になる前に、本体の設定をしてください。(63 ページ参照)






メイン画面の詳細

① 通話時の状態表示と基本操作

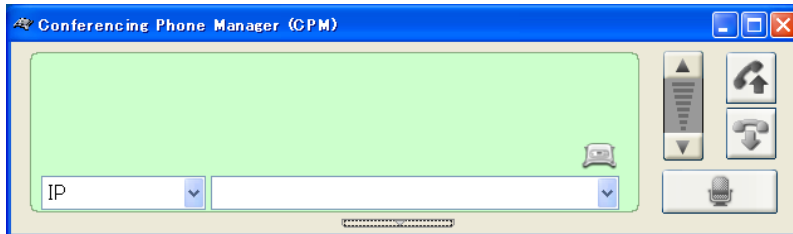
表示	説明
	通話時の状態がアイコン表示されます。表示されるアイコンについては「通話画面について」(24 ページ) を参照してください。
00:18:07	通話時間が表示されます。

表示	説明
	<p>アイコン上にマウスポインタを移動させると、本体のIPアドレスまたはSIPユーザID（電話番号）が表示されます。</p>  <p>動作モードが「Peer to Peer」に設定されている場合は、IPアドレスが表示されます。 動作モードが「SIP Phone」に設定されている場合は、SIPユーザID（電話番号）が表示されます。</p>
	<p>回線選択コンボボックス 電話をかけるときに使用する回線を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> - IP - TEL - PHS - PC
	<p>ダイヤルコンボボックス 電話をかけるときに相手のIPアドレスや相手先番号（電話番号またはSIPユーザID）を入力します。「PHS」および「PC」を選択した場合はこのボックスは無効になります。 プルダウンメニューでダイヤルした履歴を選択することができます。</p>
	<p>発信／応答 電話をかけるとき／受けるときに使用します。</p> <p>「電話をかける」（40 ページ参照） 「電話を受ける」（42 ページ参照）</p>
	<p>終話 通話を終了するときに使用します。</p> <p>「電話をかける」（40 ページ参照） 「電話を受ける」（42 ページ参照）</p>
	<p>音量 ▲（上げる）または ▼（下げる）をクリックして、以下の音量を調節するときに使用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 電話の着信音量 • 通話中のスピーカー音量 <p>「着信音量を調節する」（42 ページ参照） 「スピーカー音量を調節する」（44 ページ参照）</p>

表示	説明
	<p>マイクミュート 通話中に自分の声を相手に聞こえないようにする（ミュート）ときに使用します。 機能のON/OFFによって表示が切り替わります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ：ミュート機能がONになっています。 ：ミュート機能がOFFになっています。 <p>「ミュートする」(44 ページ参照)</p>

② コンパクトボタン





クリックすると、通話時の状態表示と基本操作だけが簡易表示されます。




再度クリックすると元の画面に戻ります。




③ 画面切り替えタブ

それぞれのタブをクリックすると、該当する画面に移動します。

ボタン	説明
 電話帳	<p>電話帳画面が表示されます。 「電話帳画面について」(19 ページ参照)</p>
 履歴	<p>履歴画面が表示されます。 「履歴画面について」(21 ページ参照)</p>
 通話	<p>通話画面が表示されます。 「通話画面について」(24 ページ参照)</p>
 メンテナンス	<p>メンテナンス画面が表示されます。 「メンテナンス画面について」(27 ページ参照)</p>

④ 機能ボタン

ボタン	説明
 ネットワークカメラ	<p>ビデオ会議画面を起動するときにクリックします。 「ビデオ会議画面の見かた」(34 ページ参照)</p>

ボタン	説明
 プログラム共有	パソコンのデスクトップやその他のアプリケーション共有を開始するときにクリックします。 「アプリケーションを共有する」(58 ページ参照)
 ホワイトボード	パソコン上のホワイトボード共有を開始するときにクリックします。 「ホワイトボードを共有する」(59 ページ参照)
 操作パネル	操作パネル画面を起動するときにクリックします。 「操作パネル画面の見かた」(29 ページ参照)

⑤ 基本設定

表示	説明
回線選択: <input type="text" value="IP + TEL"/>	選択されている回線が表示されます。プルダウンメニューで回線を切り替えることができます。(17 ページ参照)
動作モード: <input type="text" value="Peer to Peer"/>	選択されている動作モードが表示されます。プルダウンメニューで動作モードを切り替えることができます。(17 ページ参照)
	お知らせ <ul style="list-style-type: none"> 動作モードを変更する場合、変更後に、本体を再起動する必要があります。

動作モードと回線選択について

動作モードの設定によって、本体はピアツーピアのIP音声会議ホン（「Peer to Peer」）、パソコンのUSBオーディオ機器（「USB Audio」）、またはSIPサーバーのSIP端末（「SIP Phone」）として動作します。

動作モードと使用できる回線の組み合わせは以下のとおりです。

動作モード	使用できる回線
Peer to Peer	IP + TEL
	IP + PHS
	IP + PC
USB Audio	—
SIP Phone	IP + TEL
	IP + PHS
	IP + PC

お知らせ

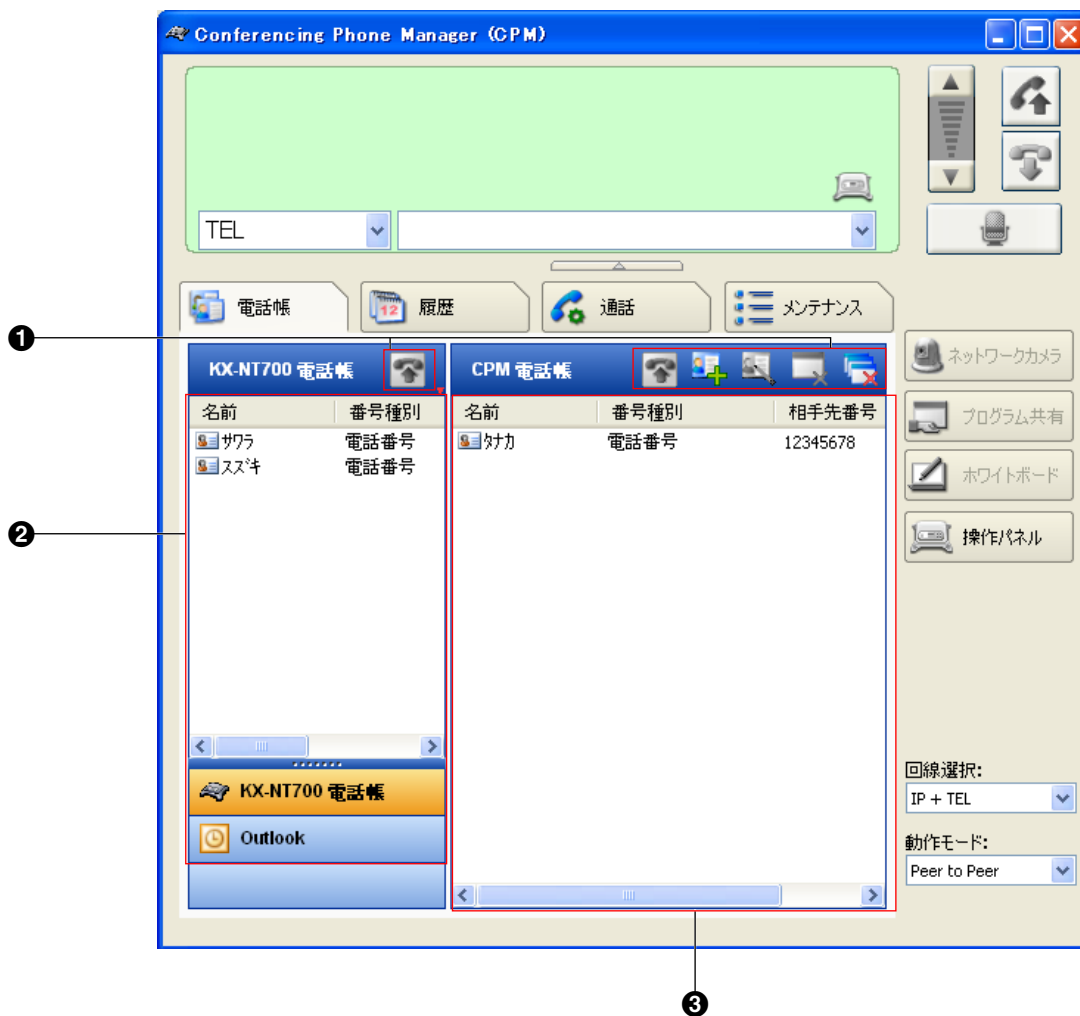
- 本体の動作モードが「**USB Audio**」に設定されている場合、IP会議ホンマネージャーは使用できません。本体を使用して動作モードを変更するには、本体の取扱説明書（詳細版）「動作モードを設定する」を参照してください。

電話帳画面について

IP会議ホンマネージャーを起動すると、電話帳画面が表示されます。


電話帳画面では、電話帳の情報を確認し、以下の操作を行うことができます。



- 電話帳から電話をかける（48 ページ参照）
- 新しい連絡先を追加する（45 ページ参照）
- 連絡先の情報を修正する（48 ページ参照）
- 連絡先の情報を削除する（49 ページ参照）
- 連絡先の情報を別の電話帳に転送する（50 ページ参照）



電話帳画面の詳細



① 操作ボタン

ボタン	説明
	<p>発信 選択した連絡先に電話をかけます。</p> <p>「電話帳を使用して電話をかける」（48 ページ参照）</p>

ボタン	説明
	追加 新しい連絡先を追加します。 「電話帳に登録する」(45 ページ参照)
	編集 登録済みの連絡先の内容を修正します。 「修正する」(48 ページ参照)
	削除 選択した連絡先を削除します。 「1件削除する」(49 ページ参照)
	全削除 すべての連絡先を削除します。 「全件削除する」(49 ページ参照)

② KX-NT700電話帳／Outlook電話帳

以下のボタンをクリックすると、本体に登録されている電話帳（KX-NT700電話帳）、またはMicrosoft Outlookに登録されている電話帳（Outlook電話帳）が表示されます。

ボタン	説明
	KX-NT700電話帳を表示します。(46 ページ参照)
	Outlook電話帳を表示します。(46 ページ参照)

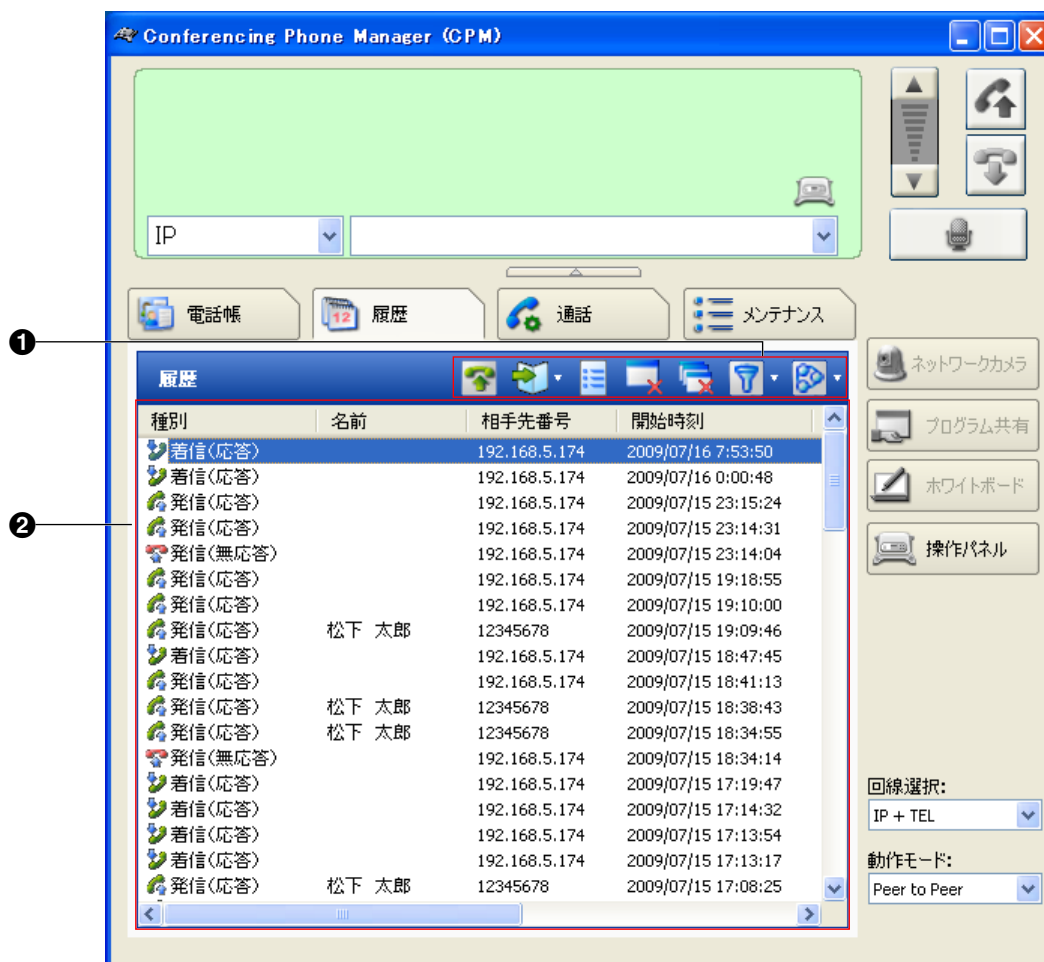
③ CPM電話帳

IP会議ホンマネージャーに登録されている電話帳が表示されます。(45 ページ参照)

履歴画面について


履歴画面では、発着信履歴を確認し、以下の操作を行うことができます。

- 履歴を使用して電話をかける（52 ページ参照）
- 履歴を電話帳に登録する（52 ページ参照）
- 履歴を削除する（53 ページ参照）
- 履歴を分類して表示する（55 ページ参照）







履歴画面の詳細

① 操作ボタン

ボタン	説明
	発信 選択した履歴から電話をかけます。 「履歴を使用して電話をかける」（52 ページ参照）

ボタン	説明
	電話帳へ保存 選択した履歴を電話帳に保存します。 「電話帳に登録する」(52 ページ参照)
	プロパティ 選択した履歴の詳細を表示します。
	削除 選択した履歴を削除します。 「削除する」(53 ページ参照)
	全削除 すべての履歴を削除します。 「削除する」(53 ページ参照)
	フィルタ条件 発信／着信の種類を選択し、閲覧したい履歴のみ表示します。 「発着信の種類別に表示する」(55 ページ参照)
	グループ条件 通話時間や相手先番号など、選択した項目別に履歴を分類して表示します。 「項目別に表示する」(55 ページ参照)

② 通話履歴表示

表示	説明
種別	 着信しましたが応答しなかったことを示します。
	 着信し、応答したことを示します。
	 発信しましたが、相手が話し中または応答しなかったことを示します。
	 発信し、相手が応答したことを示します。
名前	CPM電話帳に名前が登録されている場合、通話相手の名前が表示されます。
相手先番号	通話相手の電話番号またはIPアドレスが表示されます。
開始時刻	通話を開始した年月日および時刻が表示されます。
通話時間	通話時間が表示されます。

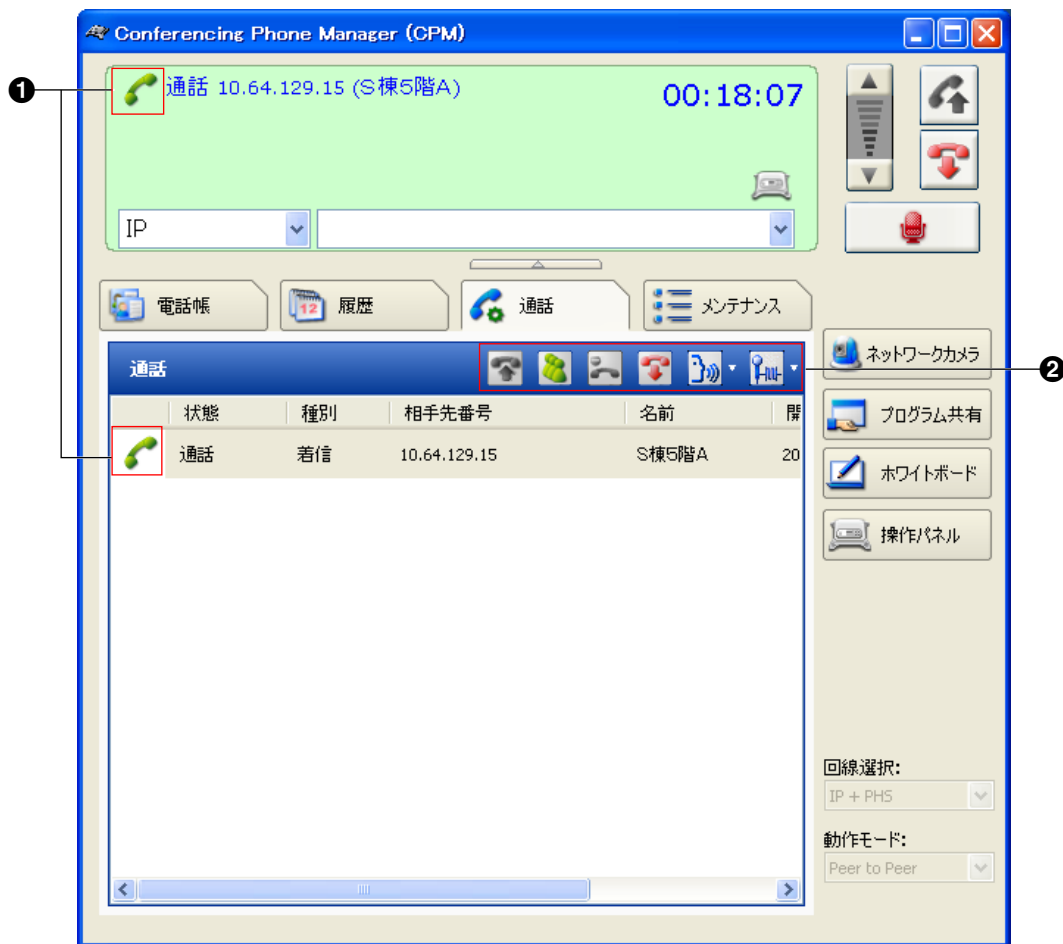
表示	説明
番号種別	通話相手の番号の種類が表示されます。表示される番号の種類は以下のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none">• IPアドレス• 電話番号• SIPユーザID
通話回数	発信および着信した合計の回数が表示されます。
優先度	CPM電話帳で登録した連絡先の優先度（「高」、「中」または「低」）が表示されます。

通話画面について

電話をかけるか電話を受けると、通話画面が表示されます。

通話画面では、現在の通話状態を確認し、以下の操作を行うことができます。

- 電話を受ける (42 ページ参照)
- 3者通話をする (41 ページおよび42 ページ参照)
- 会話速度を変える (44 ページ参照)
- マイクのノイズを減少させる (44 ページ参照)





通話管理画面の詳細









① 通話状態を表示するアイコン

表示	説明
	発信中です。
	着信中です。

表示	説明
	通話中です。
	通話が終了した状態です。
	相手が保留操作を行い、通話が保留中です。
	3者通話を行うために保留状態です。
	3者通話中です。
	ミュート中です。(自分の声は相手に聞こえません) 「ミュートする」(44 ページ参照)
	着信拒否しています。 「着信を拒否する」(43 ページ参照)
	以下のいずれかの理由で発信できません。 <ul style="list-style-type: none"> - 相手が話し中です。 - 相手の番号が見つかりません。 - 相手が着信拒否しています。

② 操作ボタン

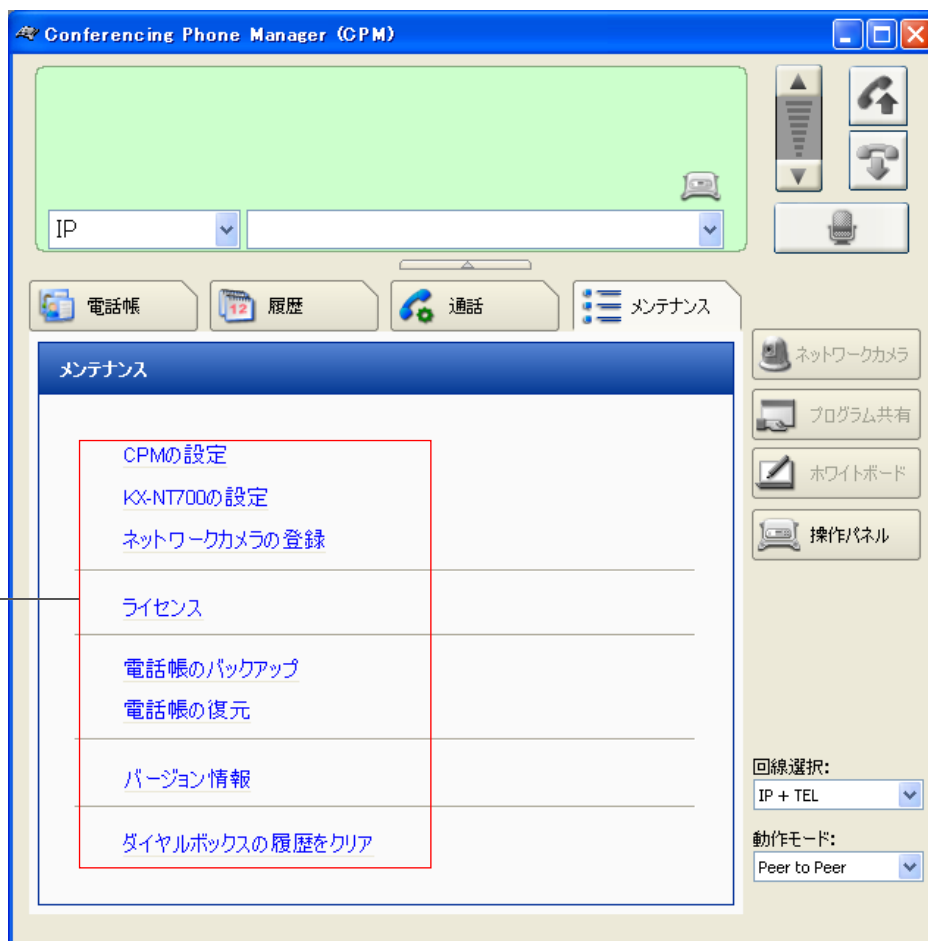
ボタン	説明
	発信／応答 電話をかけます。また、かかってきた電話に応答します。 「電話をかける」(40 ページ参照) 「電話を受ける」(42 ページ参照)
	会議 通話中に3者通話を開始します。 「3者通話をする」(41 ページ参照) 「3者通話をする (割込み着信機能)」(42 ページ参照)

ボタン	説明
	<p>着信拒否 かかってきた電話を拒否します。</p> <p>「着信を拒否する」(43 ページ参照)</p>
	<p>終話 現在の通話を終了します。</p> <p>「電話をかける」(40 ページ参照) 「電話を受ける」(42 ページ参照)</p>
	<p>話速変換 通話中の会話速度を変更します。 機能のON/OFFによって表示が切り替わります。</p> <ul style="list-style-type: none">• : 話速変換機能がON (「会話」モードまたは「リスニング」モード) になっています。• : 話速変換機能がOFFになっています。 <p>「会話速度を変える」(44 ページ参照)</p>
	<p>マイクノイズカット 本体の周囲のノイズを減少します。相手は音声聞き取りやすくなります。 機能のON/OFFによって表示が切り替わります。</p> <ul style="list-style-type: none">• : マイクノイズカット機能がON (「強」または「弱」) になっています。• : マイクノイズカット機能がOFFになっています。 <p>「マイクのノイズを減少させる」(44 ページ参照)</p>

メンテナンス画面について

メンテナンス画面では、以下の操作を行うことができます。

- IP会議ホンマネージャーの設定をする
- 本体の設定をする
- ネットワークカメラの登録をする
- ライセンス情報を確認する
- 電話帳をバックアップする
- 電話帳を復元する
- バージョン情報を確認する
- ダイアル履歴を削除する



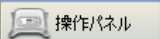
メンテナンス画面の詳細

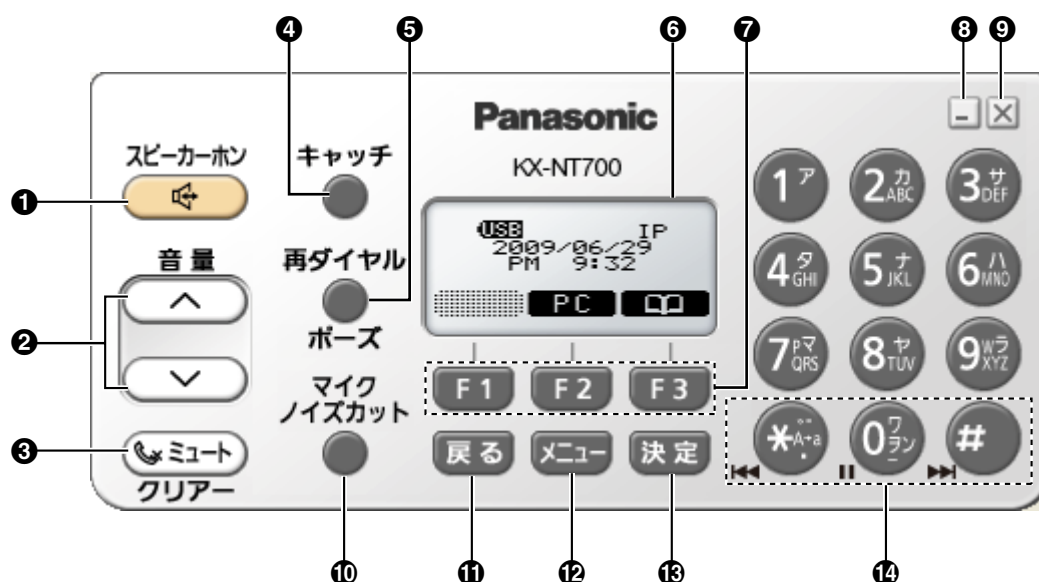
① メンテナンス操作一覧

項目	説明
CPMの設定	IP会議ホンマネージャーの設定を変更します。 「IP会議ホンマネージャーの設定を変更する」(61 ページ参照)

項目	説明
KX-NT700の設定	本体の設定を変更します。 「本体を設定する」(63 ページ参照)
ネットワークカメラの登録	ビデオ会議で使用するネットワークカメラを登録します。 「ネットワークカメラを登録する」(56 ページ参照)
ライセンス	登録したライセンスの情報を確認します。 「IP会議ホンマネージャーのライセンス登録をする」(10 ページ参照) お知らせ <ul style="list-style-type: none">体験版ソフトをご使用の場合は、本項目から試用期間の残日数を確認することができます。
電話帳のバックアップ	CPM電話帳またはKX-NT700電話帳のデータをバックアップします。 「バックアップする」(50 ページ参照)
電話帳の復元	バックアップした電話帳データを復元します。 「復元する」(50 ページ参照)
バージョン情報	お使いのIP会議ホンマネージャーのソフトウェアバージョンを確認します。
ダイヤルボックスの履歴をクリア	電話をかけるときにIPアドレスや相手先番号を入力するダイヤルコンボボックスのダイヤル履歴を削除します。

操作パネル画面の見かた

 をクリックすると、下記の操作パネルが表示されます。操作パネルを操作するには、該当する部分をクリックします。操作の詳細については、取扱説明書（詳細版）の該当箇所を参照してください。



操作パネル画面の詳細

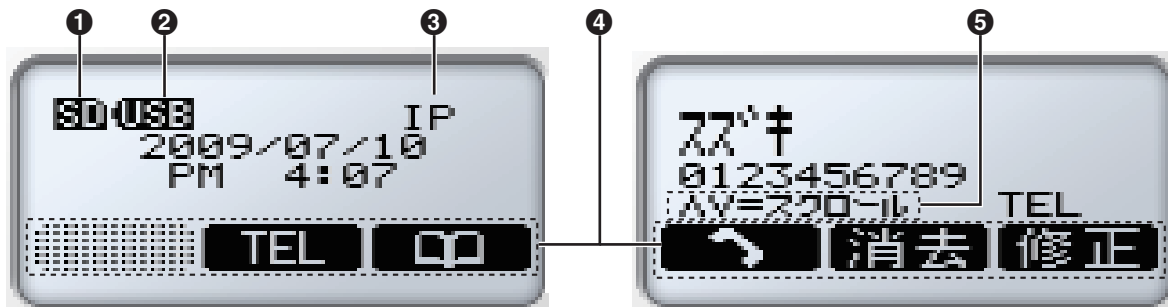
- ① **スピーカーホンボタン**
電話をかけたり、受けたりするとき 사용합니다。また、通話を終えるときにも使用します。
- ② **ナビゲータ/音量ボタン（【↑】 / 【↓】）**
電話帳の検索や機能の設定など、項目を選択するとき 사용합니다。また、スピーカー音量/着信音量を調節するときにも使用します。
- ③ **クリアー/ミュートボタン**
文字や数字を消去するとき 사용합니다。また、通話中に自分の声を相手に聞こえないようにする（ミュート）ときにも使用します。
- ④ **キャッチボタン**
キャッチホンのサービスを利用している場合、通話中にかかってきた電話を受けるとき 사용합니다。
- ⑤ **再ダイヤル/ポーズボタン**
以前にかけた相手に再度かける（再ダイヤル）とき 사용합니다。また、ダイヤル中にポーズを入力するときにも使用します。
- ⑥ **ディスプレイ**
本体の状態が表示されます。
- ⑦ **ソフトボタン（【F1】、【F2】、【F3】）**
ボタンのすぐ上のディスプレイに表示されているアイコンを選択することができます。
- ⑧ **画面を最小化するとき 사용합니다。**
- ⑨ **操作パネル画面を閉じ、メイン画面に戻るとき 사용합니다。**

- ⑩ **マイクノイズカットボタン**
本体側の周囲のノイズを減少させるときに使用します。相手は音声聞き取りやすくなります。
- ⑪ **戻るボタン**
一つ前の画面に戻るときに使用します。
- ⑫ **メニューボタン**
各種機能を設定するときを使用します。また、待機状態に戻るときにも使用します。
- ⑬ **決定ボタン**
入力した内容や設定した内容を確定させるときに使用します。
- ⑭ **SDメモリーカードに録音した内容を再生しているときに使用します。**

操作パネルディスプレイについて

例：待機画面

例：電話帳画面



- ① SDアイコン
SDメモリーカードが挿入されているときに表示されます。
- ② USBアイコン
USBケーブルが接続されているときに表示されます。
- ③ 発信回線表示 (IP、TEL、PHS、PC、USB-AUDIO)
電話をかけるときに使用される回線が表示されます。
- ④ ソフトボタンアイコン
使用できるソフトボタンのアイコンが表示されます。アイコンは、ご使用の状態によって異なります。
- ⑤ スクロール表示
電話帳や機能の設定など、項目のスクロールが可能なときに表示されます。
【←】を押すと、前の項目が表示されます。
【→】を押すと、次の項目が表示されます。

ソフトボタンについて

ソフトボタン（【F1】、【F2】、【F3】）を押すと、ボタンのすぐ上のディスプレイに表示されているアイコンを選択することができます。

本書では、ソフトボタン（【F1】、【F2】、【F3】）を、該当するソフトボタンアイコンで表記しています。

例：右記のイラストの場合

「再生」を押す」は【F1】を、

「TEL」を押す」は【F2】を、

「📖」を押す」は【F3】を押すことを示しています。



ソフトボタンアイコンの一覧

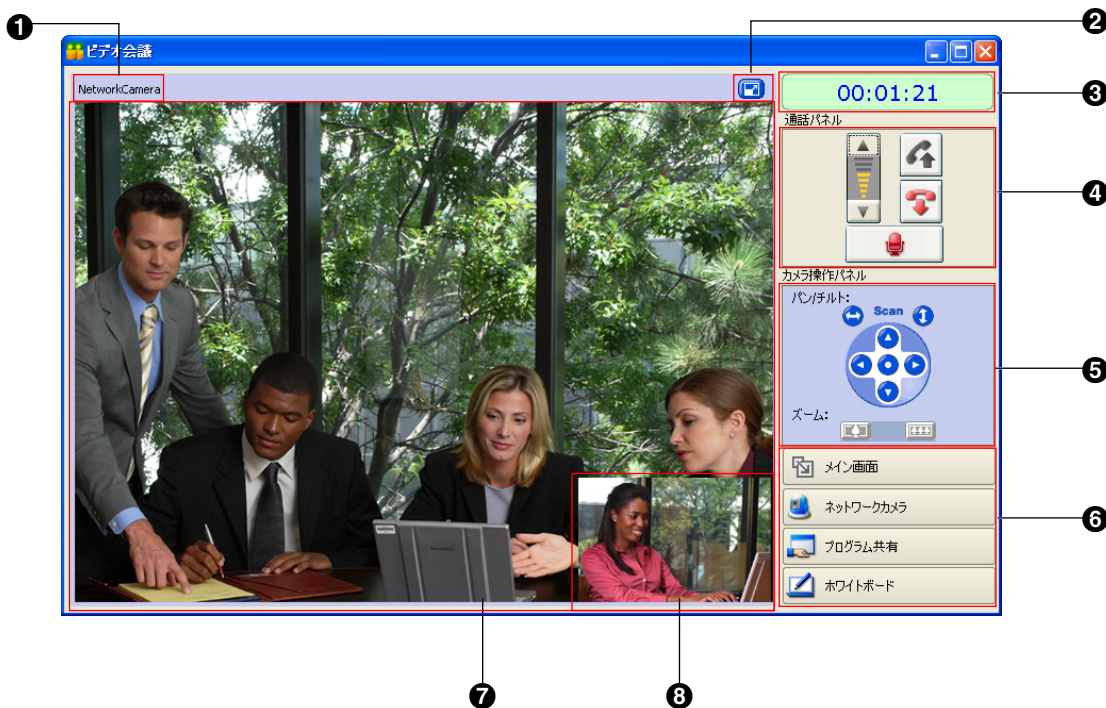
区分け	アイコン	説明
使用する回線	TEL	一般電話回線を使用するときに選択します。 「カイセン センタク」が「IP + TEL」に設定されている場合のみ表示され ます。
	IP	IP回線を使用するときに選択します。
	PHS	PHS回線を使用するときに選択します。 「カイセン センタク」が「IP + PHS」に設定されている場合のみ表示され ます。
	PC	PC回線を使用するときに選択します。 「カイセン センタク」が「IP + PC」に設定されている場合のみ表示されま す。
	回線	「カイセン センタク」設定を変更します。
通話	応答	かかってきた電話に応答します。
	拒否	かかってきた電話を拒否します。
	☎	電話をかけます。
	切断	現在の通話を終了します。
	会議	通話中に3者通話を開始します。
	話速	通話中に相手の会話速度を遅くします。

区分け	アイコン	説明
電話帳		電話帳を開きます。
		電話帳に新しい項目を追加します。
		電話帳の項目を修正します。
		カナ入力モード／英字入力モード／数字入力モードに切り替えます。
		カーソルを左に移動します。
		カーソルを右に移動します。
		電話帳の項目を消去します。
録音・再生		SDメモリーカードへの録音を開始します。
		SDメモリーカードに録音した内容を再生します。
		録音を停止します。
		再生を巻き戻します。
		再生を早送りします。
		録音した内容を消去します。
その他		前の画面に戻ります。
		表示されている項目を選択します。
		変更した設定を決定します。
		ディスプレイに表示されている動作を実行します。
		ディスプレイに表示されている動作を実行せずに、取り消します。
		SDメモリーカードをフォーマットします。

ビデオ会議画面の見かた

IP回線を使用して相手と通話が確立されると、メイン画面とは別に、ビデオ会議画面が自動的に起動します。ネットワークカメラ（別売）をあらかじめ設定すると（56 ページ）、カメラの映像が表示されます。ビデオ会議画面では、以下の操作を行うことができます。

- ネットワークカメラ映像の閲覧とネットワークカメラの操作
- 通話相手とのアプリケーション共有（58 ページ参照）
- 通話相手とのホワイトボード共有（59 ページ参照）
- 電話をかける（40 ページ参照）
- 電話を受ける（42 ページ参照）
- 音量を調節する（42 ページおよび44 ページ参照）
- ミュートする（44 ページ参照）









お知らせ

- 表示している画像はイメージです。

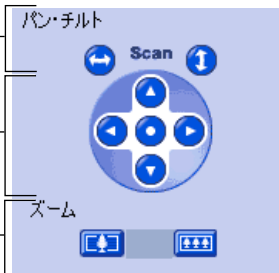
ビデオ会議画面の詳細

- ① カメラ名
ネットワークカメラに設定されているカメラ名が表示されます。
- ② フルスクリーンボタン
全画面表示に切り替わります。
- ③ 通話時間
通話時間が表示されます。


④ 通話操作ボタン




表示	説明
	電話をかけるとき／受けるときに使用します。 「電話をかける」(40 ページ参照) 「電話を受ける」(42 ページ参照)
	通話を終了するときに使用します。 「電話をかける」(40 ページ参照) 「電話を受ける」(42 ページ参照)
	▲(上げる) または ▼(下げる) をクリックして、通話中のスピーカー音量を調節するときに使用します。 「スピーカー音量を調節する」(44 ページ参照)
	通話中に自分の声を相手に聞こえないようにする (ミュート) ときに使用します。 機能のON/OFFによって表示が切り替わります。 <ul style="list-style-type: none">  : ミュート機能がONになっています。  : ミュート機能がOFFになっています。 「ミュートする」(44 ページ参照)

⑤ カメラ操作パネル

 <p>(1) — パン・チルト</p> <p>(2) —</p> <p>(3) — ズーム</p>	<p>(1) パンスキャン・チルトスキャン 相手側のネットワークカメラを水平方向または垂直方向に移動後、現在位置で止まります。</p> <p>(2) パン／チルト／ホームポジション 相手側のネットワークカメラの向きを上下左右に操作します。中央のボタンをクリックするとホームポジションに戻ります。</p> <p>(3) ズーム 相手側のネットワークカメラの映像をズームします。</p>
---	--

⑥ 機能ボタン

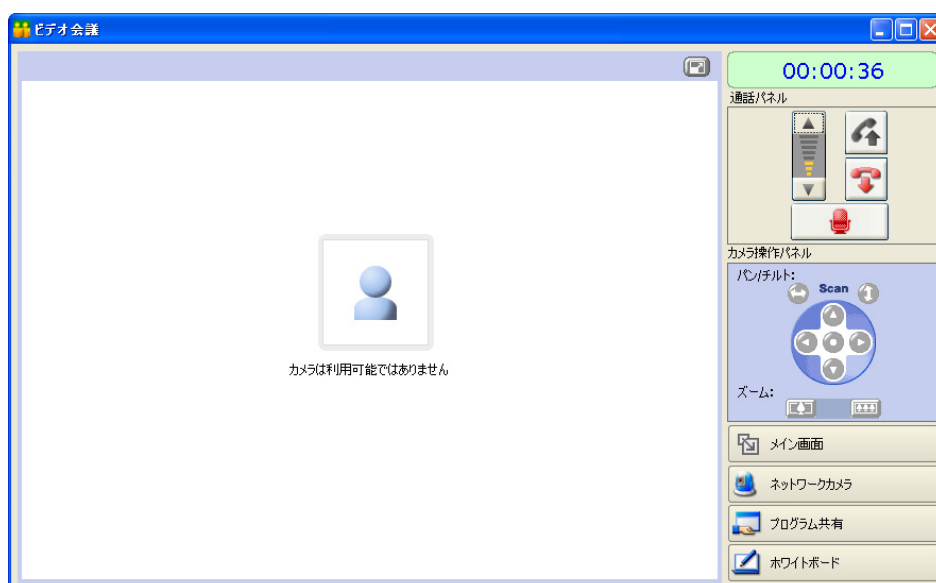
ボタン	説明
	ビデオ会議画面からメイン画面に表示を切り替えるときに使用します。

ボタン	説明
 ネットワークカメラ	ネットワークカメラの登録画面が起動します。 「ネットワークカメラを登録する」(56 ページ参照)
 プログラム共有	パソコンのデスクトップやその他のアプリケーション共有を開始するときをクリックします。 「アプリケーションを共有する」(58 ページ参照)
 ホワイトボード	パソコン上のホワイトボード共有を開始するときをクリックします。 「ホワイトボードを共有する」(59 ページ参照)

- 7 相手側のネットワークカメラの映像
映像の表示エリア内でマウスをクリックし、映像の中心を移動させることができます。(クリック&センタリング機能)
- 8 こちら側のネットワークカメラの映像

ネットワークカメラが登録されていない場合

ネットワークカメラが登録されていない場合は、ビデオ会議画面が起動すると、下記の画面が表示されます。



ネットワークカメラの登録を行うには、画面右側の  ネットワークカメラ をクリックしてください。ネットワークカメラの登録画面が起動します。(56 ページ参照)

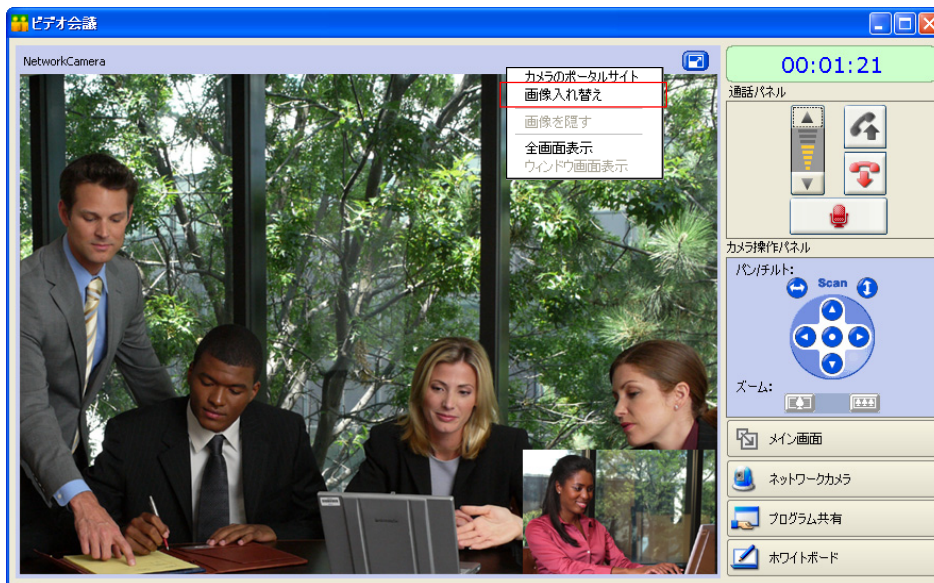
ネットワークカメラ映像の切り替え

ビデオ会議画面では、ネットワークカメラの映像を以下のように切り替えることができます。

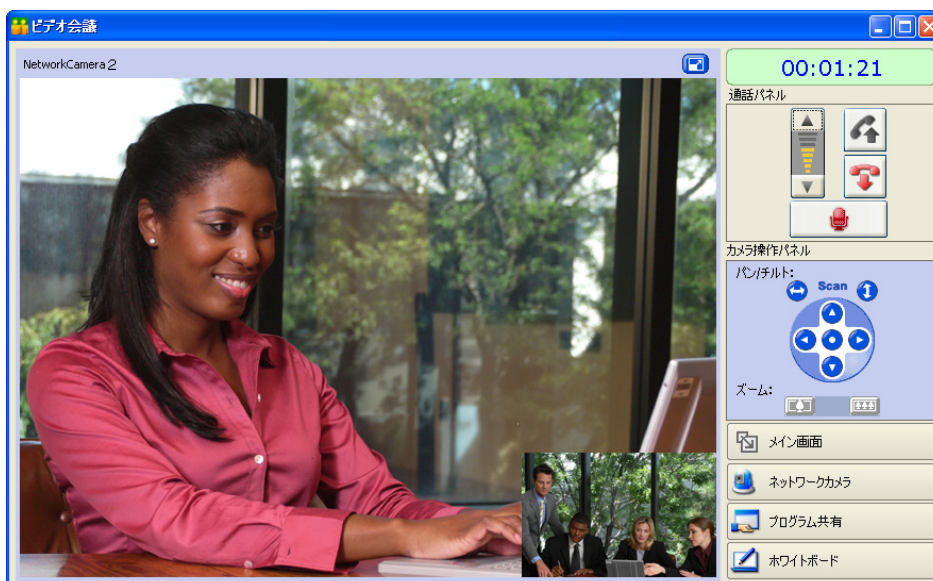
- 相手側とこちら側のネットワークカメラの映像の切り替え
- こちら側のネットワークカメラの映像の表示／非表示

相手側とこちら側のネットワークカメラの映像の切り替え

1. ネットワークカメラの映像表示範囲内で右クリックし、「画像入れ替え」をクリックする

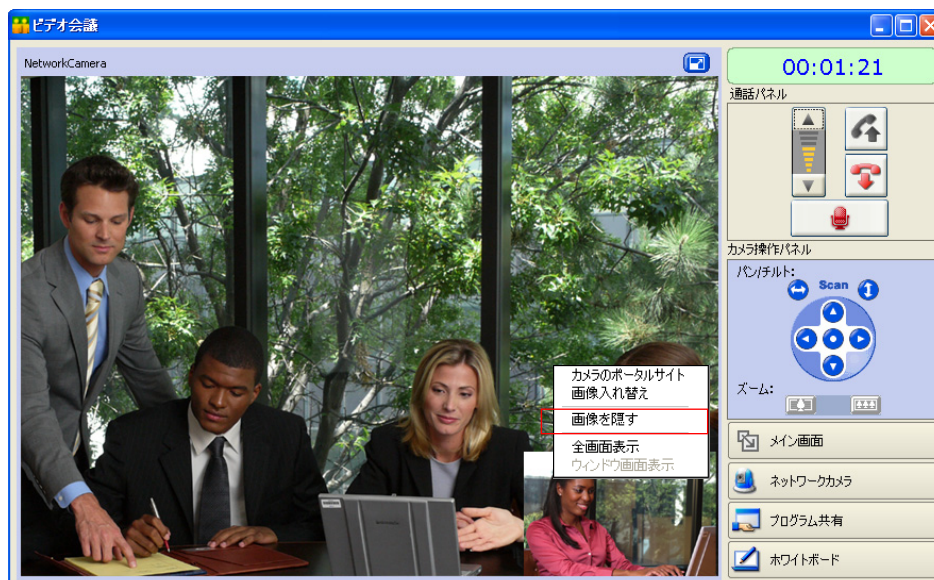


2. 表示が切り替わり、こちら側のネットワークカメラの映像が大きく、相手側のネットワークカメラの映像が小さく表示されます。

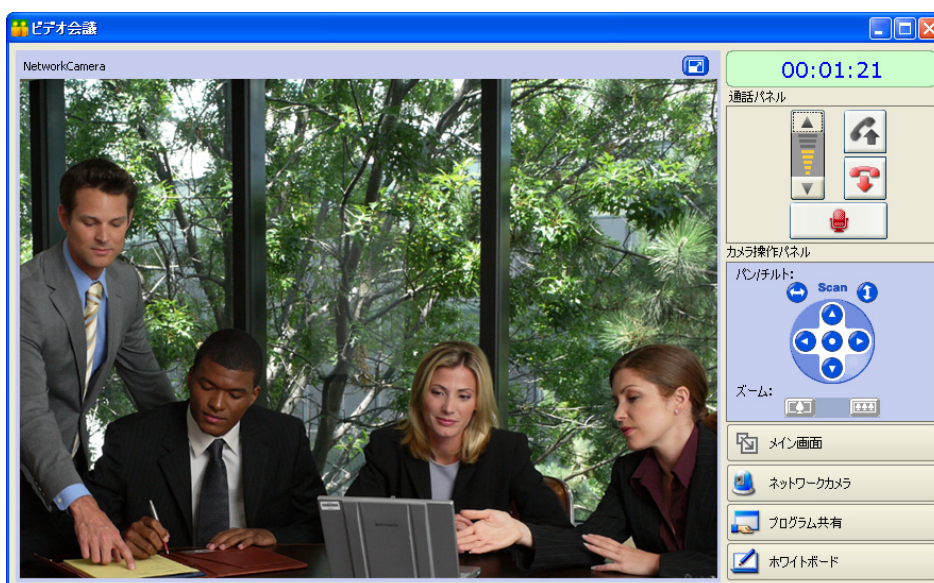


こちら側のネットワークカメラの映像の表示／非表示

1. 画面右下のこちら側のネットワークカメラの映像表示範囲内で右クリックし、「画像を隠す」をクリックする



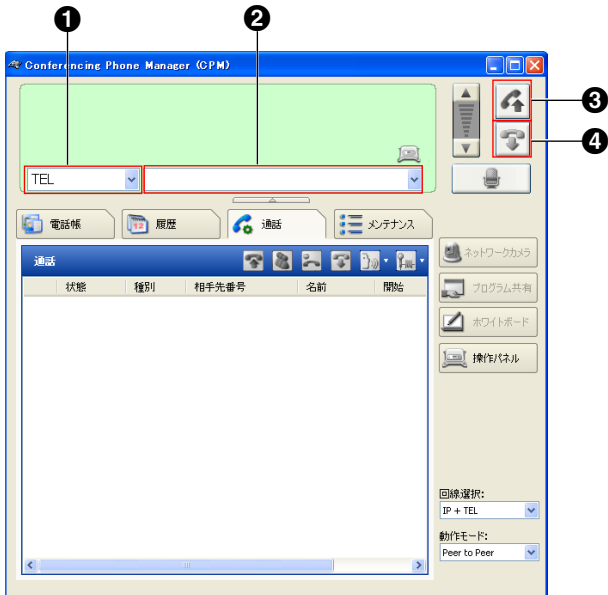
2. こちら側のネットワークカメラの映像が非表示となります。





再度表示させるには、ネットワークカメラの映像表示範囲内で右クリックし、「画像を表示」をクリックしてください。

電話をかける


IP回線／一般電話回線から電話をかける



- 1 回線選択コンボボックス (❶) から使用したい回線 (「IP」または「TEL」) を選択する
- 2 ダイヤルコンボボックス (❷) にIPアドレスまたは相手先番号 (電話番号またはSIPユーザID) を入力する
IP回線 (「Peer to Peer」モード) : IPアドレスをコンボボックスに入力する
IP回線 (「SIP Phone」モード) : SIPユーザID (電話番号) をコンボボックスに入力する
一般電話回線 : 電話番号をコンボボックスに入力する
 - SIP端末のユーザー名など、数字以外の文字列を入力することはできません。

- 3  (❸) をクリックする
 - 以下の操作でも発信できます。
 -  をクリックする



- 通話開始直後は、相手と交互にお話してください。本体が、通話環境に合わせて両者の声を聞き取りやすくするように自動的に調整します。
- 4 通話を終了するときは、 (❹) をクリックする
 - 以下の操作でも通話を終了できます。
 - 通話相手との通話状態表示上で右クリックし、「終話」をクリックする



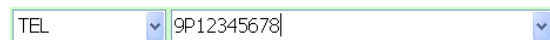
お知らせ

- 電話帳を使用して電話をかける場合は、48 ページを参照してください。
- PHS回線またはPC回線を使用して電話をかける場合は、取扱説明書 (詳細版) の「PHS電話機／パソコンを使用して通話する」を参照してください。
- 一般電話回線を使用した場合、本体の学習機能が働き、通話開始後約30秒程度相手の声が途切れて聞こえることがあります。学習時間は通話環境および回線状況により変わります。
- 通話時間表示はめやすであり、実際の通話時間とは異なる場合があります。通話料金は、相手が電話に出たからかかります。

ダイヤルポーズを入力する

一般電話回線を使用しているときに、ポーズ (ダイヤルの待ち時間) を入れることができます。電話番号の入力時に「P」または「p」を入力すると、電話番号とダイヤルポーズが発信履歴に記憶されます。発信履歴から電話をかける場合、「P」または「p」が入力されている個所でポーズが挿入されます。ポーズの長さは、3秒／5秒のいずれかに設定できます。(お買い上げ時の設定：3秒) (67 ページ参照)


例：外線発信時に「9」を入力する場合



- 1 「9」を入力する (外線にアクセスする)

2 「P」または「p」を入力する

- ポーズを長くする場合は、「P」または「p」を繰り返し入力します。入力した回数に応じて、設定された長さのポーズが挿入されます。

3 電話番号を入力する**4**  をクリックする**3者通話をする**

2者通話中に、別の相手に電話をかけたり、別の相手からの着信を受けたりすると、同時に3者での通話ができます。3者通話が可能な回線の組み合わせは以下のとおりです。

- IP回線と一般電話回線（1通話ずつ）
- IP回線とPHS回線（1通話ずつ）
- IP回線とPC回線（1通話ずつ）
- IP回線で2通話（「Peer to Peer」モード時のみ）


お知らせ


- 通話を開始する前に、使用したい回線が「**回線選択**」で設定されているか確認してください。（17 ページ参照）
- 電話を受けて3者通話をする場合は、42 ページを参照してください。

1 2者通話中に  をクリックする


- 現在の通話が保留になります。
- 以下の操作でも保留できます。
 - 通話相手との通話状態表示上で右クリックし、「**会議**」をクリックする



-  をクリックすると、最初の相手との通話に戻ります。

2 3者通話に使用する回線を回線選択コンボボックスから選択し、回線に応じて、IP会議ホンマネージャー、PHS電話機、またはパソコンで相手に電話をかけて通話状態にする**3**  をクリックして3者通話を始める

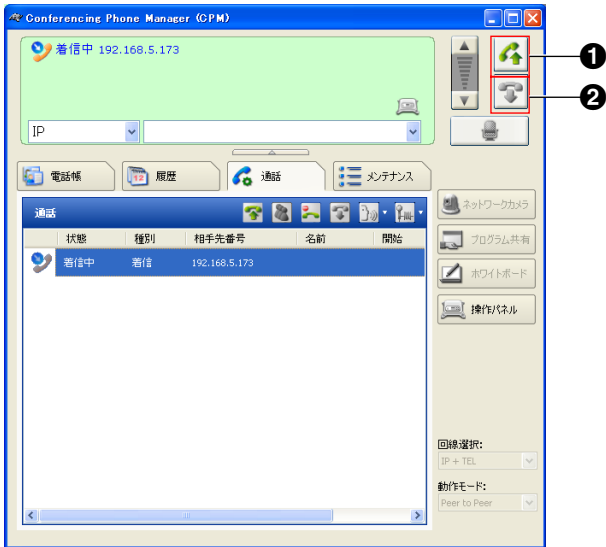
- 以下の操作でも3者通話を始めることができます。
 - 新しい通話相手との通話状態表示上で右クリックし、「**会議**」をクリックする

3者通話を終了させる**1** 通話を終了させたい相手の状態表示 (1) を選択し、 (2) をクリックする**お知らせ**

- もう一方の相手とは、通話を続けることができます。
- 通話中の2者の状態表示を同時に選択して、3者通話を終了させることもできます。

電話を受ける

IP回線、一般電話回線経由で電話がかかってくると、着信の情報が表示されます。



1 (1) をクリックする

- 以下の操作でも応答できます。
 - をクリックする
 - 着信相手の状態表示上で右クリックし、「応答」をクリックする



お知らせ

- 着信を拒否する場合は、 をクリックします。



着信相手の状態表示上で右クリックし、「着信拒否」をクリックしても、着信を拒否できます。

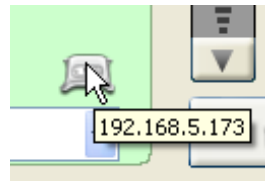


- ナンバー・ディスプレイ契約回線に接続している場合でも、相手の電話番号は表示されません。

2 通話を終了するときは、 (2) をクリックする

お知らせ

- 「Peer to Peer」モードでIP回線を使用している場合、相手に本体のIPアドレスを伝える必要があります。画面上的 にマウスポインタを移動させると、本体のIPアドレスを確認することができます。



- 一般電話回線を使用した場合、本体の学習機能が働き、通話開始後約30秒程度相手の声が途切れて聞こえることがあります。学習時間は通話環境および回線状況により変わります。

着信音量を調節する

待機中または着信中に (上げる) または (下げる) をクリックして、「オフ」を含めて4段階で音量を調節することができます。



3者通話をする（割込み着信機能）

通話中に別の相手から着信を受けて通話したり、通話を3者通話に移行させたりすることができます。

IP回線を使用して通話している場合は、IP回線、一般電話回線のどちらでも着信することができます。

動作モードを「SIP Phone」モードに設定して通話している場合は、一般電話回線からのみ着信することができます。

一般電話回線、PHS回線またはPC回線を使用して通話している場合は、IP回線からのみ着信することができます。

本機能を使用するには、あらかじめ「**割込み着信**」を「**許可**」に設定する必要があります。(66 ページ参照) (お買い上げ時の設定:「許可」)

通話中に着信があると、割込み着信音が聞こえます。(66 ページ参照)

別の相手と通話して3者通話する

1 をクリックする

- 現在の通話が保留になり、別の相手と通話することができます。

2 をクリックする



- 3者通話を開始します。
- 以下の操作でも応答できます。
 - 着信相手の状態表示上で右クリックし、「**会議**」をクリックする



現在の通話を保留せずに3者通話する

1 をクリックする



- 3者通話を開始します。

着信を拒否する

1 着信を拒否するときは、 をクリックする



お知らせ

- 現在の通話はそのまま継続されます。

3者通話を終了させる



1 通話を終了させたい相手の状態表示 (1) を選択し、 (2) をクリックする

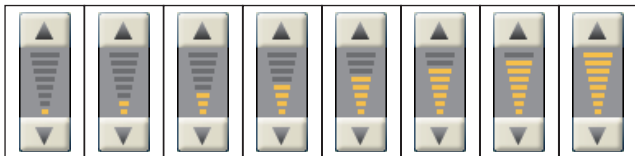
お知らせ

- もう一方の相手とは、通話を続けることができます。
- 通話中の2者の状態表示を同時に選択して、3者通話を終了させることもできます。

通話中の便利な機能

スピーカー音量を調節する

通話中に ▲(上げる) または ▼(下げる) をクリックして、8段階でスピーカー音量の調節ができます。調節中は音量が以下のように表示されます。



小さい

大きい

- 自分の声が相手に聞き取りにくい場合は、通話中に ▼ を押してスピーカー音量を下げてください。相手に聞こえる自分の声が聞き取りやすくなります。

ミュートする

通話中に自分の声を相手に聞こえないようにすること(ミュート)ができます。 をクリックすると、相手の声は聞こえますが、相手には自分の声は聞こえません。

通話に戻る場合は、 をクリックしてください。

会話速度を変える

通話中に、相手の会話速度を遅くすることができます。

1 通話中に、 をクリックする



2 使用したいモードを選んでクリックする

- 「会話」モード：相手の話をゆっくり聞いて会話を行うような場合に使用します。
- 「リスニング」モード：相手の話を一方的にゆっくり聞くような場合に使用します。
- 「オフ」モード：通常の会話速度に戻す場合に使用します。

お知らせ

- 設定に応じて、アイコンは以下のように変更します。
 - ：「会話」モードまたは「リスニング」モードに設定しています。

- ：「オフ」モードに設定しています。

- 相手が5秒以上連続して話し続けると、相手の声は通常の会話速度で聞こえるようになります。この場合、1秒以上無音状態が続くと、本機能は再び動作します。
- 「会話」モードより「リスニング」モードの方が、相手の通話速度がより遅くなります。
- 話速変換モードをオフにしたとき、音声途切れることがあります。

マイクのノイズを減少させる

通話中に、相手に送る音声のノイズを減少させることができます。

本機能は、自分のマイクに周囲の雑音が入りやすい環境で使用するとき便利です。

1 通話中に、 をクリックする



2 「強」、「弱」、「オフ」から使用したい設定をクリックする

お知らせ

- 設定に応じて、アイコンは以下のように変更します。
 - ：「強」または「弱」に設定しています。
 - ：「オフ」に設定しています。
- 本機能を使用すると、周囲のノイズの状況によっては、相手の受話音質が若干こもった感じに聞こえる場合があります。

電話帳に登録する

IP会議ホンマネージャーには、3種類の電話帳があります。

- CPM電話帳：IP会議ホンマネージャーに登録されている電話帳です。
- KX-NT700電話帳：本体に登録されている電話帳です。
- Outlook電話帳：Microsoft Outlookに登録されている電話帳です。

CPM電話帳に登録する

CPM電話帳には、連絡先を300件まで登録することができます。

電話帳を使用して電話をかける方法については、48 ページを参照してください。

1  をクリックする

2  をクリックする



- 以下の操作でも登録画面を表示することができます。
 - CPM電話帳の表示エリア内で右クリックし、「追加」をクリックする



- 「電話帳の追加」ダイアログボックスが表示されます。

- 名前とフリガナ（最大256文字）を入力する
 - フリガナの欄には、カタカナ、アルファベット、数字、記号を半角で入力することができます。
- プルダウンメニューより番号の種類を選択する
 - IPアドレスの場合：「IPアドレス」
 - 一般電話回線の電話番号の場合：「電話番号」
 - SIPユーザID（電話番号）の場合：「SIPユーザID」
- IPアドレス、電話番号（最大128ケタ）、またはSIPユーザID（最大32ケタ）を入力する

重要

- SIP端末のユーザー名など、数字以外の文字列を入力することはできません。

- 「優先度」を変更する
 - 連絡先の優先度に応じて、プルダウンメニューより「高」「中」「低」を選択できます。発着信履歴を優先度別に分類することができます。（55 ページ参照）
- 必要に応じて「プライベート」を設定する
 - プライベート設定は、連絡先情報をOutlookで使用する際に適応されます。本設定を行い、Outlook電話帳に転送された連絡先は、Outlookでプライベート設定が有効となります。

8 「OK」をクリックする

お知らせ

- 1つの項目に、電話番号とIPアドレスを両方登録することはできません。

KX-NT700電話帳に登録する

KX-NT700電話帳には、連絡先を100件まで登録することができます。

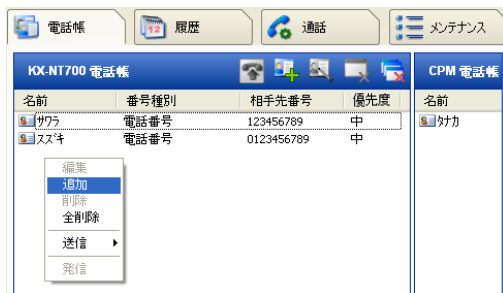
電話帳を使用して電話をかける方法については、48 ページを参照してください。

1  をクリックする

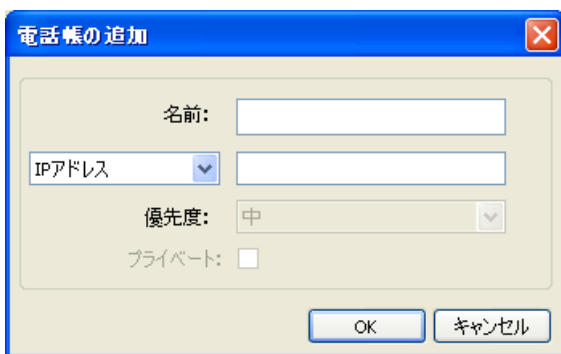
2  をクリックする



- 以下の操作でも登録画面を表示することができます。
 - KX-NT700電話帳の表示エリア内で右クリックし、「追加」をクリックする



- 「電話帳の追加」ダイアログボックスが表示されます。



3 名前（最大16文字）を入力する

- カタカナ、アルファベット、数字、記号を半角で入力することができます。

4 プルダウンメニューより番号の種類を選択する

- IPアドレスの場合：「IPアドレス」
- 一般電話回線の電話番号の場合：「電話番号」

- SIPユーザID（電話番号）の場合：「SIPユーザID」

5 IPアドレス、電話番号（最大32ケタ）、またはSIPユーザID（最大32ケタ）を入力する

重要

- SIP端末のユーザー名など、数字以外の文字列を入力することはできません。

6 「OK」をクリックする

お知らせ

- 1つの項目に、電話番号とIPアドレスを両方登録することはできません。
- KX-NT700電話帳では、「優先度」および「プライベート」の設定はできません。

Outlook電話帳に登録する

Outlook電話帳には、CPM電話帳やKX-NT700電話帳と同様に、連絡先を登録することができます。

Outlook電話帳に登録できる連絡先の件数は、お使いのOutlookにより制限されます。

電話帳を使用して電話をかける方法については、48 ページを参照してください。

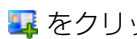
お知らせ

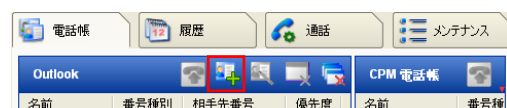
- 対応しているOutlookの種類は以下のとおりです。
 - Microsoft Office Outlook 2003
 - Microsoft Office Outlook 2007

1  をクリックする

2  をクリックする

- KX-NT700電話帳はOutlook電話帳に切り替わります。

3  をクリックする



- 以下の操作でも登録画面を表示することができます。

- Outlook電話帳の表示エリア内で右クリックし、「追加」をクリックする



- 「電話帳の追加」ダイアログボックスが表示されます。

4 名前とフリガナを入力する

- フリガナの欄には、カタカナ、アルファベット、数字、記号を半角で入力することができます。

5 プルダウンメニューより番号の種類を選択する

- IPアドレスの場合：「IPアドレス」
- 一般電話回線の電話番号の場合：「電話番号」
- SIPユーザID（電話番号）の場合：「SIPユーザID」

6 IPアドレス、電話番号（最大128ケタ）、またはSIPユーザID（最大32ケタ）を入力する

重要


- SIP端末のユーザー名など、数字以外の文字列を入力することはできません。

7 必要に応じて「プライベート」を設定する

- プライベート設定は、連絡先情報をOutlookで使用する際に適応されます。Outlook電話帳に登録された連絡先は、Outlookでプライベート設定が有効となります。

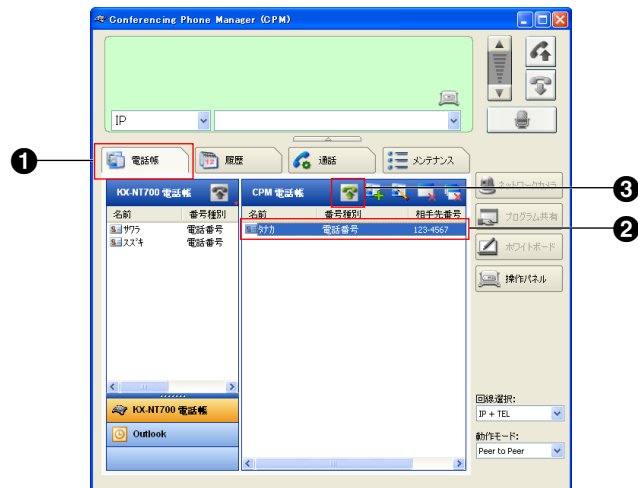
8 「OK」をクリックする

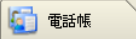

お知らせ

- 1つの項目に、電話番号とIPアドレスを両方登録することはできません。
- Outlook電話帳では、「優先度」の設定はできません。「優先度」は自動的に「中」に設定されます。
- KX-NT700電話帳に切り替えるには、 をクリックしてください。
- 番号の種類を「IPアドレス」に設定した連絡先は、Outlookの「会社電話 2」にIPアドレスが保存されます。
- 番号の種類を「電話番号」に設定した連絡先は、Outlookの「会社電話」に電話番号が保存されます。
- 番号の種類を「SIPユーザID」に設定した連絡先は、Outlookの「その他の電話」にSIPユーザIDが保存されます。

電話帳を使用して電話をかける

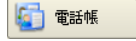

以下の方法で電話帳に登録されている連絡先に電話をかけることができます。



- 1  (1) をクリックする
- 2 電話をかけたい相手の連絡先 (2) を選択する
- 3  (3) をクリックする
 - 以下の操作でも発信できます。
 - 電話をかけたい相手の連絡先 (2) をダブルクリックする
 - 電話をかけたい相手の連絡先 (2) を選択した状態で右クリックし、「発信」をクリックする

修正する

以下の方法で電話帳に登録されている電話帳の項目を修正することができます。

- 1  をクリックする
- 2 修正したい項目を選択する
- 3  をクリックする



- 以下の操作でも編集画面を表示することができます。
 - 編集したい項目を選択した状態で右クリックし、「編集」をクリックする
- 「電話帳の編集」ダイアログボックスが表示されます。

電話帳の編集 ✕

名前:

フリガナ(半角):

IPアドレス:

優先度:



プライベート:

- 4 変更したい内容を修正する
- 5 「OK」をクリックする

削除する

以下の方法で電話帳に登録されている電話帳の項目を削除することができます。

1件削除する

- 1  をクリックする
- 2 削除したい項目を選択する
- 3  をクリックする





- 以下の操作でも削除することができます。
 - 削除したい項目を選択した状態で右クリックし、「削除」をクリックする



4 「はい」をクリックする

- 途中でやめる場合は、「いいえ」をクリックしてください。

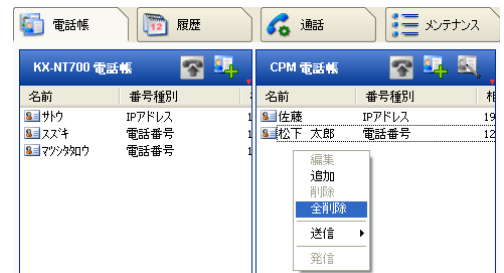
全件削除する

- 1  をクリックする
- 2  をクリックする



- 以下の操作でも全件削除することができます。

- 削除する電話帳の表示エリア内で右クリックし、「全削除」をクリックする



3 「はい」をクリックする

- 途中でやめる場合は、「いいえ」をクリックしてください。

連絡先の情報を別の電話帳に転送する

登録した連絡先を、別の電話帳に転送できます。連絡先を転送できる電話帳の組み合わせは以下のとおりです。

- CPM電話帳 ⇔ KX-NT700電話帳
- CPM電話帳 ⇔ Outlook電話帳

1  電話帳 をクリックする

2 転送したい連絡先を選択し、転送先の電話帳にドラッグ&ドロップする

- 以下の操作でも転送することができます。
 - 転送したい連絡先を選択した状態で右クリックし、「送信」を選択して転送先の電話帳をクリックする



お知らせ

- KX-NT700電話帳に連絡先を転送する場合、次の設定は転送されません。
 - 「優先度」
 - 「プライベート」
- Outlook電話帳に連絡先を転送する場合、「優先度」の設定は転送されません。
- フリガナを設定していない連絡先はKX-NT700電話帳に転送できません。
- KX-NT700電話帳に連絡先を転送する場合、フリガナは16文字まで、電話番号は32ケタまでしか転送できません。

電話帳をバックアップする

電話帳のデータをパソコンにバックアップすることができます。バックアップしたデータを読み込み、電話帳を復元することもできます。

お知らせ

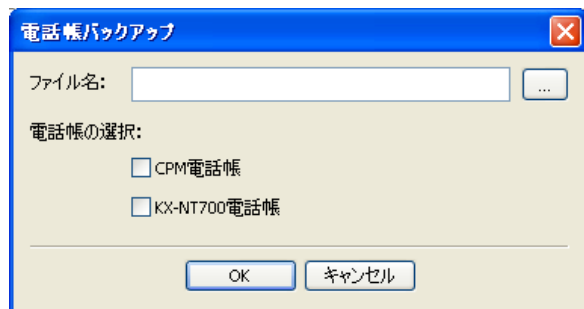
- バックアップできる電話帳はCPM電話帳とKX-NT700電話帳のみです。

バックアップする

1  メンテナンス をクリックする

2 「電話帳のバックアップ」をクリックする

- 「電話帳バックアップ」ダイアログボックスが表示されます。



3 データの保存先を選択する

4 バックアップする電話帳を選択する

- **CPM電話帳**：CPM電話帳をバックアップします。
- **KX-NT700電話帳**：KX-NT700電話帳をバックアップします。

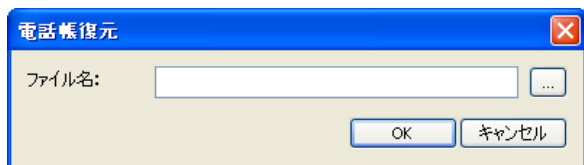
5 「OK」をクリックする

復元する

1  メンテナンス をクリックする

2 「電話帳の復元」をクリックする

- 「電話帳復元」ダイアログボックスが表示されます。



3 復元するデータを選択する

4 「OK」をクリックする

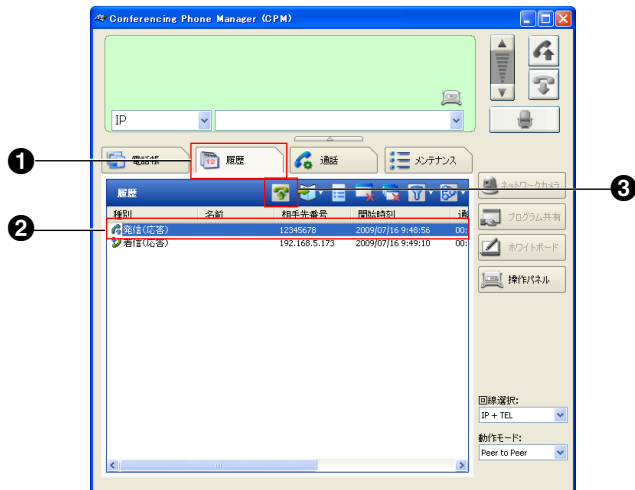
- 電話帳の復元を確認する画面が表示されます。

5 「はい」をクリックする

履歴を使用して電話をかける

発着信履歴を使用して、電話をかけることができます。使用できる発着信履歴の種類は以下のとおりです。

- 発信履歴
- IP回線からの着信履歴



- 1 (1) をクリックする
- 2 電話をかけたい相手の履歴 (2) を選択する
- 3 (3) をクリックする
 - 以下の操作でも発信できます。
 - 電話をかけたい相手の履歴 (2) をダブルクリックする
 - 電話をかけたい相手の履歴 (2) を選択した状態で右クリックし、「発信」をクリックする

お知らせ

- 発着信履歴は合計で300件まで表示することができます。

電話帳に登録する

発着信履歴から選択した相手先を、CPM電話帳へ登録することができます。

新規に登録する

- 1 をクリックする
- 2 登録したい相手の履歴を選択する
 - 一度に複数の履歴を選択することはできません。
- 3 をクリックする



- 以下の操作でも登録することができます。
 - 登録したい相手の履歴を選択した状態で右クリックし、「電話帳への追加」を選ぶ



- 4 「新規作成」をクリックする
 - 「電話帳の追加」ダイアログボックスが表示されます。
- 5 必要な情報を入力する（45 ページ参照）
 - 発信履歴を登録する場合、相手先番号は自動的に表示されます。
 - 着信履歴を登録する場合、IP回線からの着信の場合のみ相手先番号は自動的に表示されます。
- 6 「OK」をクリックする

既存の登録先を更新する

発着信履歴から、CPM電話帳の既存の登録先を更新することができます。登録先の更新を行うと、登録している名前と相手先番号が更新されます。

- 1 をクリックする

2 更新したい相手の履歴を選択する

- 一度に複数の履歴を選択することはできません。

3 をクリックする



4 「更新」をクリックする

- 「電話帳項目の更新」ダイアログボックスが表示されます。

5 更新したい相手の名前を選ぶ

- 発信履歴から更新する場合、相手先番号は自動的に表示されます。
- 着信履歴から更新する場合、IP回線からの着信の場合のみ相手先番号は自動的に表示されます。

6 「OK」をクリックする

削除する

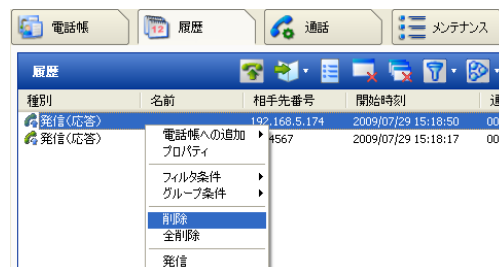
1 履歴 をクリックする

2 削除したい履歴を選択する

3 をクリックする



- 以下の操作でも削除することができます。
 - 削除したい履歴を選択した状態で右クリックし、「削除」をクリックする

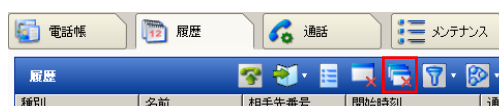


4 「はい」をクリックする

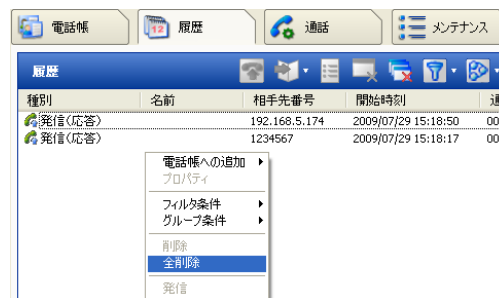
すべての履歴を削除する

1 履歴 をクリックする

2 をクリックする



- 以下の操作でもすべての履歴を削除することができます。
 - 履歴表示エリア内で右クリックし、「全削除」をクリックする



3 「はい」 をクリックする

履歴を分類して表示する

発着信の種類別に表示する

1  をクリックする


2  をクリックする



3 表示したい履歴の種類を選択する

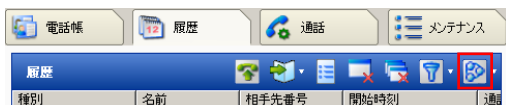
- 「すべて」：すべての発着信履歴が表示されます。
- 「着信（無応答）」：着信しましたが応答しなかった履歴が表示されます。
- 「着信（応答）」：着信し、応答した履歴が表示されます。
- 「発信（応答）」：発信し、相手が応答した履歴が表示されます。
- 「発信（無応答）」：発信しましたが、相手が話し中または応答しなかった履歴が表示されます。

項目別に表示する

フィルタ条件（）で設定した発着信の種類別の表示を、さらに項目別に分類して表示することができます。

1  をクリックする

2  をクリックする



3 表示したい履歴の種類を選択する

- 「なし」：通常の発着信履歴画面が表示されます。
- 「種別」：発着信の種類別（着信（無応答）、着信（応答）、発信（応答）、発信（無応答））に履歴が表示されます。
- 「開始時刻」：発着信の日付別（今日、昨日、曜日、先週、2週間前、3週間前）に履歴が表示されます。
- 「通話時間」：通話時間別（30分未満、1時間未満、2時間未満、3時間未満、3時間以上）に履歴が表示されます。

- 「番号種別」：通話相手の番号の種類別（IPアドレス、電話番号、SIPユーザID）に履歴が表示されます。
- 「相手先番号」：通話相手の番号別に履歴が表示されます。
- 「名前」：電話帳に登録している通話相手の名前に履歴が表示されます。
- 「通話回数」：発信および着信した合計の回数別に履歴が表示されます。
- 「発着信別」：発信および着信別に履歴が表示されます。
- 「優先度」：電話帳に登録している通話相手の優先度別（高、中、低）に履歴が表示されます。

ネットワークカメラと連携して使う

パソコンと同じLANにネットワークカメラ（別売）を接続して、通話相手とビデオ会議を行うことができます。

ビデオ会議中は、お互いのカメラの映像を一つの画面に表示させることができます。（34 ページ参照）

対応機種（パナソニック製ネットワークカメラ）

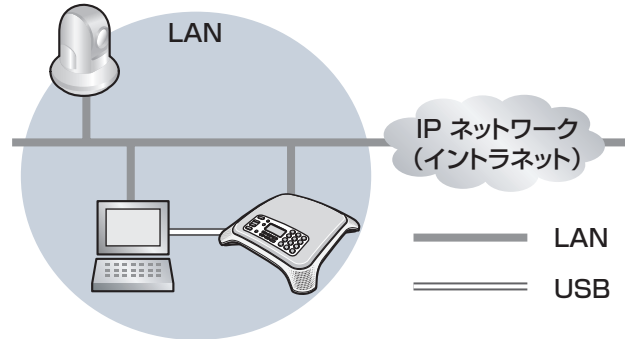
- BB-HCE481
- BB-HCM100
- BB-HCM110
- BB-HCM311
- BB-HCM331
- BB-HCM371
- BB-HCM381
- BB-HCM403
- BB-HCM511
- BB-HCM515
- BB-HCM531
- BB-HCM580
- BB-HCM581

重要

- 一般電話回線、PC回線およびPHS回線を使用して通話をする場合、通話相手とネットワークカメラを用いたビデオ会議はできません。
- ネットワークカメラを用いたビデオ会議は、2者間でのみ可能です。3者通話をする場合、ビデオ会議は最初の通話相手と行われます。このとき、次の相手とは音声通話のみ可能です。最初の相手との通話が終わったあとに、次の相手とのビデオ会議が可能になります。

ネットワークカメラを接続する

パソコンと同じLANにネットワークカメラを接続してください。



ネットワークカメラの設定および接続については、お使いになるネットワークカメラの取扱説明書をご覧ください。

ネットワークカメラを登録する

ネットワークカメラを用いてビデオ会議を行うには、使用するネットワークカメラをあらかじめ登録しておく必要があります。

1  メンテナンス をクリックする

2 「ネットワークカメラの登録」 をクリックする

- 「ネットワークカメラの登録」 ダイアログボックスが表示されます。

The screenshot shows the 'ネットワークカメラの登録' (Network Camera Registration) dialog box. It contains the following fields and controls:

- IPアドレス: [. 0 . 0 . 0] [検索]
- ポート番号: [80]
- ユーザー名: []
- パスワード: []
- CPM接続時にXX-N1700からネットワークカメラ情報を取得
- Buttons: [OK] [キャンセル] [適用(A)]

3 使用するネットワークカメラのIPアドレス、ポート番号、ユーザー名、パスワードを入力する

お知らせ

- 以下の操作を行うと、ネットワークカメラのIPアドレスとポート番号を自動的に取得することができます。

1. 「検索」 をクリックする

- 「ネットワークカメラ選択」ダイアログボックスに、LAN内に接続されたネットワークカメラの一覧が最大10台まで表示されます。
2. 使用したいネットワークカメラを選択して、「選択」をクリックする
- 「IPアドレス」と「ポート番号」の欄に、選択したネットワークカメラのIPアドレスとポート番号が表示されます。

4 必要に応じて「CPM接続時にKX-NT700からネットワークカメラ情報を取得」の設定をする

- **チェックボックスがオンの場合**
IP会議ホムマネージャーを起動すると、ネットワークカメラの設定情報を本体から自動的に取得します。IP会議ホムマネージャーに登録しているネットワークカメラの設定は、本体から取得した設定に上書きされます。
- **チェックボックスがオフの場合**
IP会議ホムマネージャーを起動しても、本体からネットワークカメラの設定情報を取得しません。IP会議ホムマネージャーに登録したネットワークカメラの設定でビデオ会議を行います。

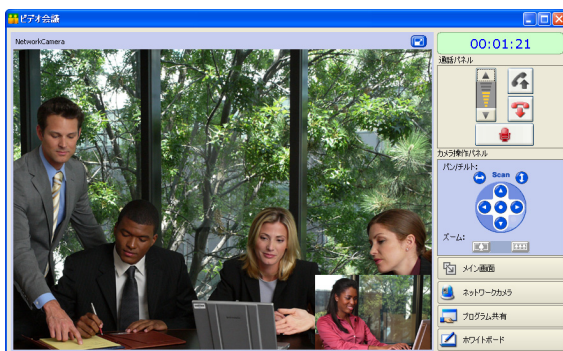
5 「OK」をクリックする

登録したネットワークカメラの設定を本体へ保存するか確認する画面が表示されます。本体へ保存する場合は「はい」をクリックしてください。本体へ保存しない場合は「いいえ」をクリックしてください。

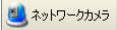
ビデオ会議を行う

1 相手と通話状態にする（40 ページ参照）

- 「ビデオ会議」画面が表示されます。



お知らせ

- 通話時にビデオ会議画面が表示されない場合、またはビデオ会議画面を一度閉じた後に再度表示させたい場合は、メイン画面右側の  ネットワークカメラ をクリックしてください。

アプリケーションを共有する

IP回線を使用して通話する場合、パソコンのデスクトップやさまざまなアプリケーションを通話相手と共有することができます。

重要

- 一般電話回線、PC回線およびPHS回線を使用して通話をする場合、通話相手とアプリケーションの共有はできません。
- アプリケーションの種類によっては、共有できないものもあります。
- アプリケーションの共有は、2者間でのみ可能です。3者通話をする場合、アプリケーション共有は最初の通話相手と行われます。このとき、次の相手とは音声通話のみ可能です。最初の相手との通話が終わったあとに、次の相手とのアプリケーション共有が可能になります。

アプリケーションを共有する

PowerPointなどのアプリケーションを通話相手と共有することができます。

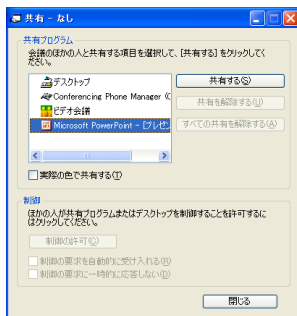
アプリケーションを通話相手と共有する手順は以下のとおりです。

1 相手と通話状態にする（40 ページ参照）

2 共有するアプリケーションを起動する

3  をクリックする

- 共有設定のダイアログボックスが表示されます。



4 「共有プログラム」から、共有するアプリケーションを選択し、「共有する」をクリックする

5 「閉じる」をクリックする

- 通話相手の画面に、共有するアプリケーションが表示されます。


お知らせ

- 共有設定のダイアログボックスで「**制御の許可**」をクリックすると、相手は共有しているアプリケーションを操作することができます。操作を許可しない場合でも、閲覧することはできます。
- 共有設定のダイアログボックスで「**実際の色で共有する**」にチェックすると、自分のパソコンと同じ色で相手のパソコンに表示することができます。
- 共有したデータは、アプリケーションの共有を開始したパソコンにのみ保存することができます。

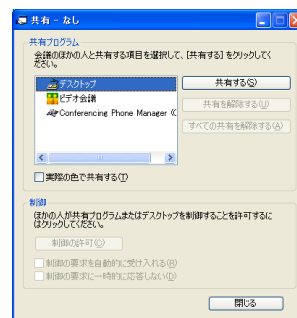
デスクトップを共有する

以下の方法で、自分のパソコンのデスクトップ画面を通話相手と共有することができます。

1 相手と通話状態にする（40 ページ参照）

2  をクリックする

- 共有設定のダイアログボックスが表示されます。



3 「共有プログラム」から、「デスクトップ」を選択し、「共有する」をクリックする

4 「閉じる」をクリックする

- 通話相手の画面に、自分のデスクトップが表示されます。

お知らせ

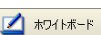
- 共有設定のダイアログボックスで「**制御の許可**」をクリックすると、相手はデスクトップを操作することができます。操作を許可しない場合でも、閲覧することはできます。

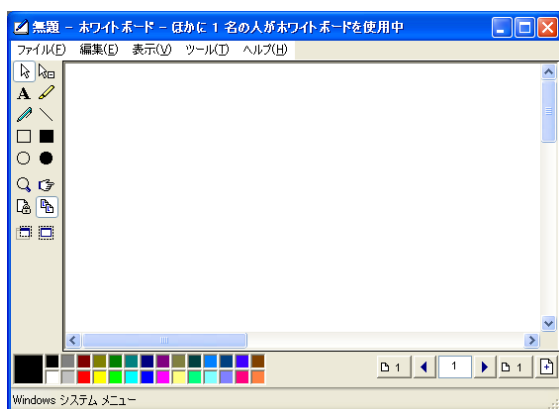
- 共有設定のダイアログボックスで「**実際の色で共有する**」にチェックすると、自分のパソコンと同じ色で相手のパソコンに表示することができます。

ホワイトボードを共有する

パソコン上のホワイトボードを使用して、通話相手とリアルタイムで共同作業ができます。

ホワイトボードを通話相手と共有する手順は以下のとおりです。

- 1 相手と通話状態にする（40 ページ参照）
- 2  をクリックする
 - 「ホワイトボード」画面が表示されます。



- 3 データを保存する
データを保存するには、以下の操作を行ってください。

1. ファイルメニューから「**上書き保存**」または「**名前をつけて保存**」をクリックする
2. 「**名前をつけて保存**」を選んだ場合は、ファイル名を入力し、「**保存**」をクリックする

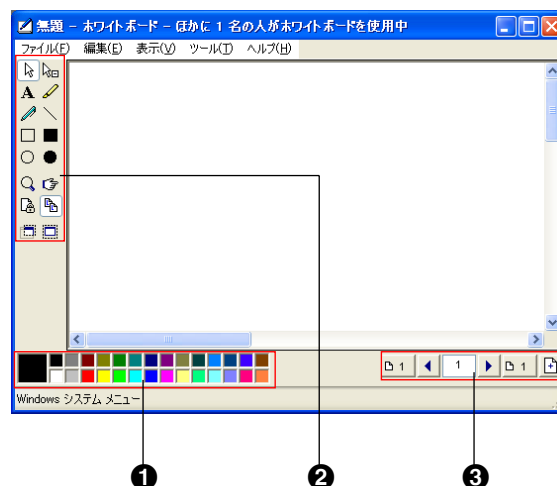
重要

- 3者通話時にホワイトボードを共有していた場合は、2者通話に移行する前に必ずホワイトボードを終了してください。ホワイトボードを共有したまま2者通話に移行すると、次の相手とのホワイトボードの共有およびアプリケーションの共有を行うことができません。



お知らせ










- 共有したデータは、自分のパソコンと相手のパソコンの両方に保存することができます。
- 保存したデータを開くときは、Microsoft Netmeetingの初期設定が必要です。

ホワイトボード画面について




- 1 カラーパレット
- 2 ツールパレット

ボタン	説明
	選択 図形や文字などを選択／移動するときに使用します。
	消しゴム 描いた図形などを消すときに使用します。
	テキスト 文字を入力するときに使います。
	蛍光 蛍光ペンでハイライトを引くときに使います。
	ペン 図形などを描くときに使います。
	線 直線を引くときに使います。
	四角形 四角形を描くときに使います。

ボタン	説明
	塗りつぶし四角形 塗りつぶし四角形を描くときに使います。
	楕円 円や楕円を描くときに使います。
	塗りつぶし楕円 塗りつぶし円や楕円を描くときに使います。
	拡大 ホワイトボードを拡大するときに使います。
	リモートポインタオン ホワイトボードの内容を指し示したいときに使います。
	内容のロック ホワイトボードの内容を他のユーザーが変更できなくするときに使用します。
	非同期 相手と共有しているページとは別のページを個別に使用したい場合に使います。
	領域の選択 デスクトップの領域を選択してスクリーンショットをホワイトボードに貼り付けたいときに使用します。マウスをドラッグして貼り付けたい領域を選択し、マウスをはなすとホワイトボードにコピーされます。
	ウィンドウの選択 ウィンドウのスクリーンショットをホワイトボードに貼り付けたいときに使用します。コピーしたいウィンドウを前面に表示させておく必要があります。

③ ページ移動

ボタン／アイコン	説明
	最初のページ 最初のページを表示します。

ボタン／アイコン	説明
	前のページ 前のページを表示します。
	現在のページ 現在のページを表示しています。
	次のページ 次のページを表示します。
	最後のページ 最後のページを表示します。
	新しいページの追加 新しいページを追加します。

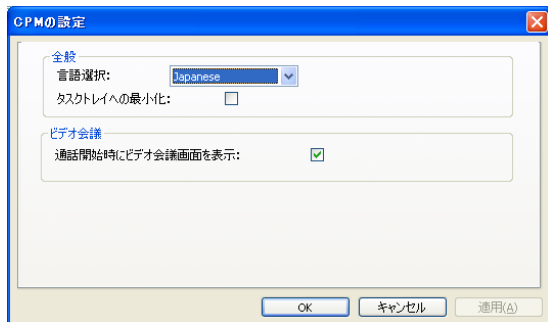
IP会議ホンマネージャーの設定を変更する

IP会議ホンマネージャーの設定および設定の確認ができます。

1  をクリックする

2 「CPMの設定」 をクリックする

- 機能の設定画面が表示されます。



3 項目に合わせて設定を変更する（62 ページ参照）





4 「OK」 をクリックする

- メンテナンス画面に戻ります。
- 設定内容を変更せずに終了する場合は、「キャンセル」 をクリックしてください。

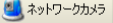
IP会議ホンマネージャーの設定項目について

ここでは、IP会議ホンマネージャーに設定できる設定項目を記載します。

全般

項目と説明	設定できる内容	お買い上げ時の設定
言語選択 IP会議ホンマネージャーで使用する言語を設定します。	<input type="checkbox"/> English <input type="checkbox"/> Japanese	Japanese
タスクトレイへの最小化 メイン画面を最小化したときの動作を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> チェックボックスがオンの場合 メイン画面右上の  をクリックすると、IP会議ホンマネージャーはタスクトレイに最小化されます。画面を再度表示するには、タスクトレイ上の  をダブルクリックしてください。 チェックボックスがオフの場合 メイン画面右上の  をクリックすると、IP会議ホンマネージャーはタスクバーに最小化されます。画面を再度表示するには、タスクバー上の  をクリックしてください。 	チェックボックスのオン、オフ	オフ

ビデオ会議

項目と説明	設定できる内容	お買い上げ時の設定
通話開始時にビデオ会議画面を表示 IP回線を使用した通話時にビデオ会議画面を表示するかを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> チェックボックスがオンの場合 IP回線を使用して相手と通話が確立されると、ビデオ会議画面が起動します。 チェックボックスがオフの場合 IP回線を使用して相手と通話が確立されても、ビデオ会議画面は起動しません。ビデオ会議画面を起動するには、画面右側にある  ネットワークカメラ をクリックする必要があります。 	チェックボックスのオン、オフ	オン

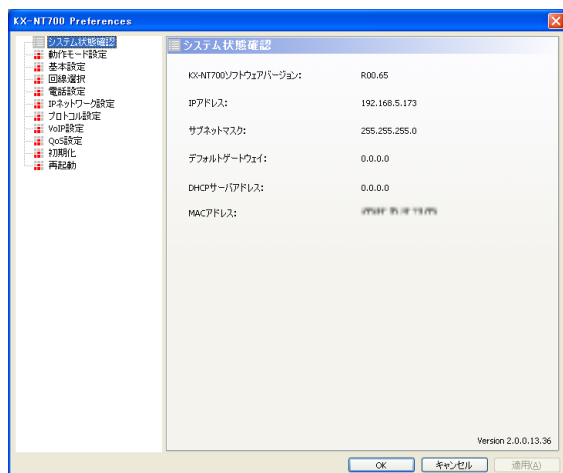
本体の設定を変更する

IP会議ホンマネージャーで、本体の設定および設定の確認ができます。

1  メンテナンス をクリックする

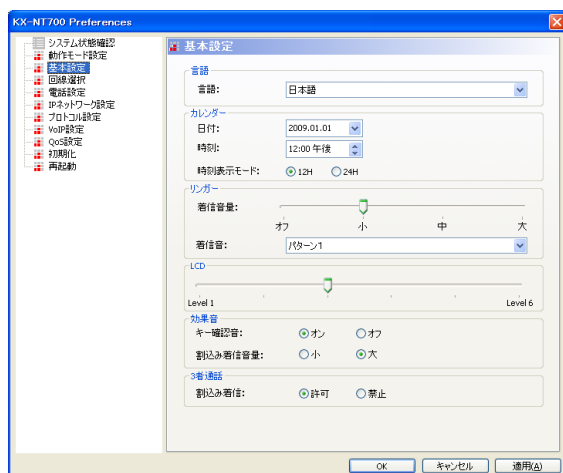
2 「KX-NT700の設定」をクリックする

- 機能の設定画面が表示されます。



3 設定画面の左側に表示されている大項目をクリックする

- 設定画面の右側に、設定項目が表示されます。



4 項目に合わせて設定を変更する (65 ページ参照)

5 「OK」をクリックする

- メンテナンス画面に戻ります。
- 設定内容を変更せずに終了する場合は、「キャンセル」をクリックしてください。

お知らせ

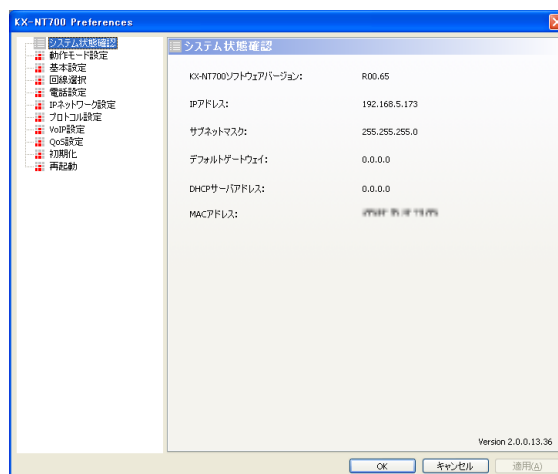
- 本体を再起動する必要がある機能の設定を変更した場合、本体を再起動するかどうか確認するメッセージが表示されます。変更を反映させるには、「はい」をクリックして本体を再起動してください。
- 再起動が必要になる設定は、以下のとおりです。
 - 動作モード
 - IPネットワーク設定
 - プロトコル設定
 - QoS設定
 - VoIP設定 (SIPポート番号のみ)

本体を再起動する

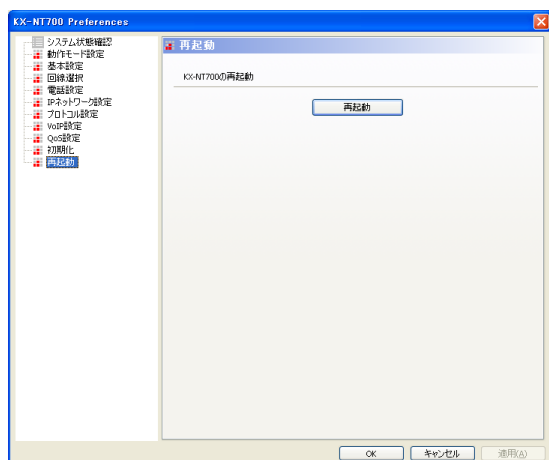
1  メンテナンス をクリックする

2 「KX-NT700の設定」をクリックする

- 機能の設定画面が表示されます。



- 3 設定画面の左側に表示されている「再起動」をクリックする



- 4 設定画面右側の「再起動」をクリックする
- 本体を再起動するかどうか確認するメッセージが表示されます。「はい」をクリックして再起動してください。

本体の設定項目について

ここでは、本体に設定できる設定項目を記載します。

システム状態確認

項目と説明
<p>下記の項目を確認します。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 「KX-NT700 ソフトウェアバージョン」 - 「IPアドレス」 - 「サブネットマスク」 - 「デフォルトゲートウェイ」 - 「DHCPサーバアドレス」 - 「MACアドレス」

動作モード

お願い

- 設定を有効にするには、設定後に本体を再起動してください。(63 ページ参照)

項目と説明	設定できる内容	お買い上げ時の設定
<p>動作モード 本体はピアツーピアのIP 音声会議ホン、パソコンのUSB オーディオ機器、またはSIP サーバーのSIP 端末として動作します。</p>	<input type="checkbox"/> Peer to Peer <input type="checkbox"/> SIP Phone <input type="checkbox"/> USB Audio	Peer to Peer

基本設定

項目と説明	設定できる内容	お買い上げ時の設定
<p>言語 本体のディスプレイに表示される言語を設定します。</p>	<input type="checkbox"/> 日本語 <input type="checkbox"/> 英語	日本語
<p>日付、時刻 日付と時刻は、待機中に本体のディスプレイに表示されます。また、SD メモリーカードを使用して会話を録音したときに記録され、再生するときに表示されます。</p>	年月日、時刻	2008.01.01 12:00 午前
<p>時刻表示モード 本体の時刻の表示方法を設定します。</p>	<input type="checkbox"/> 12H <input type="checkbox"/> 24H	12H
<p>着信音量 本体の着信音量を設定します。</p>	「オフ」を含めて4段階	大

項目と説明	設定できる内容	お買い上げ時の設定
着信音 着信音の種類を設定します。	<input type="checkbox"/> パターン1 <input type="checkbox"/> パターン2 <input type="checkbox"/> パターン3	パターン1
LCD 本体のディスプレイ表示のコントラスト（濃淡）を設定します。	6段階	レベル3
キー確認音 本体のボタンを押したとき、確認音を鳴らすか設定します。	<input type="checkbox"/> オン <input type="checkbox"/> オフ	オン
割込み着信音量 通話中に着信したときの本体の着信音量を設定します。	<input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 小	大
割込み着信 通話中に他の電話からの着信を許可するか禁止するかを設定します。	<input type="checkbox"/> 許可 <input type="checkbox"/> 禁止	許可

回線選択

項目と説明	設定できる内容	お買い上げ時の設定
回線選択 使用する回線の種類を設定します。設定された回線で発着信が可能です。	<input type="checkbox"/> IP + TEL <input type="checkbox"/> IP + PC <input type="checkbox"/> IP + PHS	IP + TEL

電話設定

項目と説明	設定できる内容	お買い上げ時の設定
回線種別 一般電話回線を使用するときの回線種別を設定します。	<input type="checkbox"/> 10PPS <input type="checkbox"/> 20PPS <input type="checkbox"/> プッシュ	プッシュ

項目と説明	設定できる内容	お買い上げ時の設定
<p>フラッシュタイム 本体で【キャッチ】を押したときの回線切断時間（フラッシュの時間）を設定します。</p> <p>お願い</p> <ul style="list-style-type: none"> お使いの一般電話回線に合わせて設定してください。 	<input type="checkbox"/> 900ms <input type="checkbox"/> 700ms <input type="checkbox"/> 600ms <input type="checkbox"/> 400ms <input type="checkbox"/> 300ms <input type="checkbox"/> 250ms <input type="checkbox"/> 200ms <input type="checkbox"/> 160ms <input type="checkbox"/> 110ms <input type="checkbox"/> 100ms <input type="checkbox"/> 90ms <input type="checkbox"/> 80ms	700ms
<p>ポーズタイム 本体で【再ダイヤル／ポーズ】を押したときに挿入されるポーズ時間の長さを設定します。</p>	<input type="checkbox"/> 3秒 <input type="checkbox"/> 5秒	3秒
<p>受話レベル補正 受話レベルを補正するか設定します。</p>	<input type="checkbox"/> オン <input type="checkbox"/> オフ	オフ
<p>ナンバー・ディスプレイ ナンバー・ディスプレイ契約回線に接続する場合、チェックボックスをオンにします。</p> <ul style="list-style-type: none"> 設定を「オン」にしている場合 電話がかかってくると本体のディスプレイに「ベルカクニンチュウ」が約6秒間表示されます。その後、「TEL チャクシン」が表示され、着信音が鳴ります。 設定を「オフ」にしている場合 着信音は鳴りますが、最初の6秒間は電話を受けることができません。電話を受けるには、約6秒経ってから本体の【スピーカーホン】を押します。 	<input type="checkbox"/> チェックボックスのオン、オフ	オフ

IPネットワーク設定

設定については、システム管理者にご相談ください。

お願い

- 設定を有効にするには、設定後に本体を再起動してください。(63 ページ参照)

項目と説明	設定できる内容	お買い上げ時の設定
<p>IPアドレスモード IP回線使用時にIPアドレスを手動で設定するか、DHCPサーバーから自動的に取得するかを設定します。</p>	<input type="checkbox"/> DHCP <input type="checkbox"/> 固定	固定

項目と説明	設定できる内容	お買い上げ時の設定
IPアドレス 本体を接続するときに使用するIPアドレスを設定します。 (取扱説明書(詳細版)の「IPネットワークを設定する」を参照してください。) 「IPアドレスモード」が「固定」に設定されている場合のみ設定が必要です。	—	192.168.0.2
サブネットマスク 本体を接続するときに使用するサブネットマスクを設定します。 (取扱説明書(詳細版)の「IPネットワークを設定する」を参照してください。) 「IPアドレスモード」が「固定」に設定されている場合のみ設定が必要です。	—	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ 本体を接続するときに使用するデフォルトゲートウェイのIPアドレスを設定します。 (取扱説明書(詳細版)の「IPネットワークを設定する」を参照してください。) 「IPアドレスモード」が「固定」に設定されている場合のみ設定が必要です。	—	0.0.0.0

プロトコル設定

設定については、システム管理者にご相談ください。

お願い

- 設定を有効にするには、設定後に本体を再起動してください。(63 ページ参照)

項目と説明	設定できる内容	お買い上げ時の設定
SIPユーザID SIPサーバーで設定しているSIP ユーザID (内線番号) に合わせて設定してください。 ・ SIP端末のユーザー名など、数字以外の文字列を入力することはできません。	最大32ケタ	—
SIPパスワード SIPサーバーで設定しているパスワードに合わせて設定してください。	最大32文字	—
SIPプロキシサーバ：ユーザドメインネーム SIPサーバーのIPアドレスに合わせて設定してください。	—	—
SIPプロキシサーバ：IPアドレス SIPサーバーまたはSIPプロキシサーバーのIPアドレスに合わせて設定してください。	—	0.0.0.0

項目と説明	設定できる内容	お買い上げ時の設定
SIPプロキシサーバ：ポート番号 SIPサーバまたはSIPプロキシサーバのSIPポート番号に合わせて設定してください。	1024～50999	5060
SIPレジストラサーバ：IPアドレス SIPサーバまたはSIPレジストラサーバのIPアドレスに合わせて設定してください。	—	0.0.0.0
SIPレジストラサーバ：ポート番号 SIPサーバまたはSIPレジストラサーバSIPポート番号に合わせて設定してください。	1024～50999	5060
保留手順 保留手順の規格を設定します。 ・ 相手が保留状態にならない場合は、設定を変更してください。	<input type="checkbox"/> RFC2543 <input type="checkbox"/> RFC3264	RFC3264

VoIP設定

項目と説明	設定できる内容	お買い上げ時の設定
優先コーデック IP回線での通話時に優先して使用するコーデックの規格を設定します。	<input type="checkbox"/> G.722 <input type="checkbox"/> G.711 μ -law <input type="checkbox"/> G.711A-law <input type="checkbox"/> G.729a	G.722
RTPパケットサイズ 通話時に送出するRTPパケットサイズを設定します。	<input type="checkbox"/> 20ms <input type="checkbox"/> 30ms <input type="checkbox"/> 40ms <input type="checkbox"/> 50ms <input type="checkbox"/> 60ms	20ms
SIPポート番号 使用するSIPポート番号を設定します。 お願い <ul style="list-style-type: none"> 設定を有効にするには、設定後に本体を再起動してください。(63 ページ参照) 	1024～50999	5060
RTPポート番号 (Min.) 使用するRTPポート番号の最小値を設定します。 お願い <ul style="list-style-type: none"> 設定値は「RTPポート番号 (Max.)」の設定より小さくしてください。 	51000～51998 (偶数のみ)	51000

項目と説明	設定できる内容	お買い上げ時の設定
RTPポート番号(Max.) 使用するRTPポート番号の最大値を設定します。 お願い <ul style="list-style-type: none"> 設定値は「RTPポート番号(Min.)」の設定より大きくしてください。 	51002~52000 (偶数のみ)	52000

QoS設定

お願い

- 設定を有効にするには、本体を再起動してください。(63 ページ参照)

項目と説明	設定できる内容	お買い上げ時の設定
VLAN ID 使用するVLAN IDを設定します。	1~4095	4095
SIP ToS Field 使用するSIP ToS フィールドの値を設定します。	8ビット・ バイナリコード	00000000
RTP ToS Field 使用するRTP ToS フィールドの値を設定します。	8ビット・ バイナリコード	00000000
VLAN Priority VLAN IDの優先度を設定します。	0~7	0

初期化

項目と説明
KX-NT700を工場出荷状態へ初期化：オールデータリセット システムデータおよびお客様が登録したデータをすべてお買い上げ時の状態に初期化します。 <ul style="list-style-type: none"> この機能を実行すると、本体は自動的に再起動します。 日付・時刻設定、電話帳に登録した項目および発信履歴も削除されます。
KX-NT700データを個別に初期化：通話履歴クリア 発信履歴をすべて削除します。
KX-NT700データを個別に初期化：電話帳クリア KX-NT700電話帳に登録されている項目をすべて削除します。
KX-NT700データを個別に初期化：システムデータリセット システムデータ（本章に記載されている設定項目で設定された内容）をすべて初期化します。 <ul style="list-style-type: none"> この機能を実行すると、本体は自動的に再起動します。 日付・時刻設定、電話帳に登録した項目および発信履歴は削除されません。

再起動

項目と説明
本体を再起動します。 <ul style="list-style-type: none">再起動しても、本体に登録されているデータは削除されません。

IP会議ホンマネージャーをバージョンアップする

IP会議ホンマネージャーを最新ソフトウェアにバージョンアップすることができます。

お願い

- バージョンアップ中は、パソコンと本体を接続しないでください。

バージョンアップする

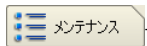
IP会議ホンマネージャーのバージョンアップ方法について説明します。バージョンアップの詳細については、下記パナソニックのサポートウェブサイトに合わせてご確認ください。

http://panasonic.biz/netsys/kaigiphone/support/download/nt700/frm/nt700_readme.html

1. 下記のサポートウェブサイトアクセスして、バージョンアップソフトウェアをダウンロードする
<http://panasonic.biz/netsys/kaigiphone/support/download/index.html>
2. IP会議ホンマネージャー用のバージョンアップソフトウェアを、使用するパソコンの任意の場所にコピーする
 - ファイルは、解凍した本体のバージョンアップソフトと同じフォルダに格納されています。
3. コピーしたファイルをダブルクリックする
4. 画面の指示に従って、バージョンアップソフトウェアをインストールする
5. 「インストールが終了しました」のメッセージを確認し、「完了」をクリックする

お知らせ

- 以下の方法で、IP会議ホンマネージャーのソフトウェアバージョンを確認することができます。

 メンテナンス → 「バージョン情報」

困ったとき

トラブルが起きたときは、こちらをお読みください。点検を行う前に、本体とパソコンが正しく接続されているか確認してください。

トラブルの対応に関する最新の情報については、下記のサポートウェブサイトをご覧ください。

<http://panasonic.biz/netsys/kaigiphone/support/index.html>



基本動作について

こんなとき	原因と対応	参照
本体と接続できない	<ul style="list-style-type: none"> USBケーブルが正しく接続されていません。 → 本体とパソコンが正しく接続されているか確認してください。 	11 ページ
	<ul style="list-style-type: none"> 動作モードが「USB Audio」に設定されています。 → 「USB Audio」に設定されている場合、IP会議ホンマネージャーは使用できません。本体を操作して、「Peer to Peer」または「SIP Phone」に設定してください。 	—

発着信について

こんなとき	原因と対応	参照
IP会議ホンマネージャーで発信できない	<ul style="list-style-type: none"> 本体が操作中です。 → 本体を待機状態にしてください。 	—
IP回線で発信できない	<ul style="list-style-type: none"> IP回線が選択されていません。 → ダイヤルする前に、回線選択コンボボックスから「IP」を選んでください。 	40 ページ
	<ul style="list-style-type: none"> IPアドレスが正しく入力されていません。 → 相手のIPアドレスを正しく入力したか確認してください。 	40 ページ
	<ul style="list-style-type: none"> 動作モードが正しく設定されていません。 → 本体をピアツーピアのIP音声会議ホンとして使用する場合は、「Peer to Peer」に設定してください。発信するには相手のIPアドレスを入力する必要があります。 → 本体をSIPサーバーのSIP端末として使用する場合は、「SIP Phone」に設定してください。発信するには相手のSIPのユーザーID（電話番号）を入力する必要があります。 	17 ページ 65 ページ
	<ul style="list-style-type: none"> システム管理者にご相談ください。 	—


こんなとき	原因と対応	参照
一般電話回線で発信できない	<ul style="list-style-type: none"> • 一般電話回線（「TEL」）が選択されていません。 → ダイヤルする前に、回線選択コンボボックスから「TEL」を選んでください。 • 回線種別が正しく設定されていません。 → 「回線種別」（「ブッシュ」 / 「10PPS」 / 「20PPS」）が、お使いの回線に適した設定になっているか確認してください。 	40 ページ 66 ページ
IP回線で着信できない	<ul style="list-style-type: none"> • 動作モードが正しく設定されていません。 → 本体をピアツーピアのIP音声会議ホンとして使用する場合は、「Peer to Peer」に設定してください。着信するには、相手がIPアドレスを入力して発信する必要があります。 → 本体をSIPサーバーのSIP端末として使用する場合は、「SIP Phone」に設定してください。着信するには、相手がSIPのユーザーID（電話番号）を入力して発信する必要があります。 	17 ページ 65 ページ
一般電話回線で着信できない	<ul style="list-style-type: none"> • 「回線選択」が「IP + PC」もしくは「IP + PHS」に設定されています。 → 「IP + TEL」に設定してください。 	17 ページ 66 ページ
操作パネル画面で【再ダイヤル/ポーズ】を押して再ダイヤルすることができない	<ul style="list-style-type: none"> • 再ダイヤルしようとしている番号が制限を超えています。 → ダイヤルした番号のケタ数が以下の制限をこえた場合、正しく再ダイヤルできません。 <ul style="list-style-type: none"> - 一般電話回線：128ケタ - IP回線（「SIP Phone」モード）：32ケタ 	—
	<ul style="list-style-type: none"> • ダイヤルを始めた後に【再ダイヤル/ポーズ】を押していません。 → ダイヤルを始めた後に【再ダイヤル/ポーズ】ボタンを押した場合、ポーズボタンとして動作します。最後にかけた10件のなかから再ダイヤルするには、【再ダイヤル/ポーズ】を押した後【へ】か【v】を押して発信したい相手を選び、【スピーカーホン】を押してください。 	—
	<ul style="list-style-type: none"> • 「回線選択」が「IP + PC」もしくは「IP + PHS」に設定されています。 → 「IP + TEL」に設定してください。 	17 ページ 66 ページ
	<ul style="list-style-type: none"> • 動作モード設定が前回の通話時と異なっています。（例：「Peer to Peer」モードでかけた相手を、「SIP Phone」モードで再ダイヤルしようとしています。） → 動作モード設定を変更してください。 	17 ページ 65 ページ

こんなとき	原因と対応	参照
着信音が鳴らない	<ul style="list-style-type: none"> 着信音量の設定が「オフ」になっています。 → 着信中にを押すか、着信音量の設定を変更してください。 	42 ページ 65 ページ
相手に自分の声が聞こえない	<ul style="list-style-type: none"> ミュート中になっています。 → 「ミュート」が表示される場合は、を押してミュート機能をOFFにしてください。 	44 ページ
	<ul style="list-style-type: none"> マイクが遮られています。 → 通話中は、物や手でマイクを遮らないでください。 	—
通話画面で通話時間が表示されない	<ul style="list-style-type: none"> 通話開始後にIP会議ホンマネージャーを起動しています。 → 通話を開始した後にIP会議ホンマネージャーを起動すると、通話画面下部の個別の通話状態表示には通話時間が表示されません。 	—
3者通話に使用する回線（「IP」 / 「TEL」 / 「PHS」 / 「PC」）を選択できない	<ul style="list-style-type: none"> 「回線選択」が正しく設定されていません。 → 通話を開始する前に、3者通話に使用したい回線が設定されているか確認してください。 	17 ページ


電話帳について


こんなとき	原因と対応	参照
電話帳を登録することができない	<ul style="list-style-type: none"> 本体の電話帳（KX-NT700電話帳）に100件登録されています。 → 不要な項目を削除してください。 	46 ページ
	<ul style="list-style-type: none"> IP会議ホンマネージャーの電話帳（CPM電話帳）に300件登録されています。 → 不要な項目を削除してください。 	45 ページ
電話帳から電話をかけることができない	<ul style="list-style-type: none"> Outlook電話帳の電話番号のケタ数が128ケタを超えています。 → 128ケタを超える電話番号は電話をかけることができません。 	—
KX-NT700電話帳に連絡先を転送できない	<ul style="list-style-type: none"> 転送する連絡先にフリガナが設定されていません。 → フリガナを設定してください。 	45 ページ 50 ページ
Outlook電話帳が使用できない	<ul style="list-style-type: none"> お使いのOutlookがIP会議ホンマネージャーで対応されていません。 → 対応しているOutlookの種類は以下のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> Microsoft Office Outlook 2003 Microsoft Office Outlook 2007 	—

機能の設定について

こんなとき	原因と対応	参照
本体の設定ができない	<ul style="list-style-type: none"> 通話中です。 → 通話を終わってから、本体を設定してください。 	—
	<ul style="list-style-type: none"> 着信中です。 → 着信すると、自動的に設定を終了します。通話を終わってから、もう一度本体を設定してください。 	—
変更した設定が反映されない	<ul style="list-style-type: none"> 設定項目の中には、設定を変更した後、再起動が必要なものがあります。 → 本体を再起動してください。 	63 ページ
メイン画面の  にマウスポインタを移動させると、「SIPユーザID未設定」と表示される	<ul style="list-style-type: none"> SIPサーバまたはSIPユーザID（電話番号）が正しく設定されていません。 → SIPサーバまたはSIPユーザIDの設定を確認してください。 → 設定を正しく入力しているか確認してください。 	68 ページ

ビデオ会議について

こんなとき	原因と対応	参照
ビデオ会議ができない	<ul style="list-style-type: none"> ビデオ会議に必要な条件が満たされていません。 → 以下の条件が満たされているか確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> IP回線を使用しての2者通話 お互いのパソコンにIP会議ホンマネージャーがインストールされている パソコンと同じLAN内にネットワークカメラが接続されている 使用するネットワークカメラが登録されている 	56 ページ
	<ul style="list-style-type: none"> ビデオ会議画面が起動していません。 → IP回線を使用した通話開始後に、 ボタンを押してください。 	16 ページ
	<ul style="list-style-type: none"> ファイアウォールの「エコー要求の着信を許可する」設定が無効になっています。 → 「スタート」→「コントロールパネル」→「セキュリティセンター」→「Windows ファイアウォール」の「詳細設定」タブ内にあるICMPの「設定」ボタンをクリックし、「エコー要求の着信を許可する」のチェックボックスにチェックを入れてください。 	—

こんなとき	原因と対応	参照
ビデオ会議が自動で始まらない	<ul style="list-style-type: none"> 必要な設定が有効になっていません。 → 通話開始前に下記の設定を行ってください。 <ol style="list-style-type: none">  メンテナンス をクリックする 「CPMの設定」 をクリックする 「通話開始時にビデオ会議画面を表示」 のチェックボックスをオンにする 	62 ページ
ネットワークカメラを操作できない	<ul style="list-style-type: none"> お使いのネットワークカメラの設定で、カメラの操作が許可されていません。 → ネットワークカメラの設定を確認してください。 	—

アプリケーションの共有について

こんなとき	原因と対応	参照
ホワイトボードが共有できない／アプリケーションが共有できない	<ul style="list-style-type: none"> 3者通話から2者通話に移行する前にホワイトボードの共有が終了されていません。 → ホワイトボードを共有したまま3者通話から2者通話に移行すると、次の相手とのホワイトボードの共有およびアプリケーションの共有を行うことができません。2者通話に移行する前にホワイトボードを終了してください。 	59 ページ
	<ul style="list-style-type: none"> 共有に必要なパソコンのプログラムが異常終了している場合があります。 → IP会議ホンマネージャーまたはパソコンを再起動してください。 	—

バージョンアップについて

こんなとき	原因と対応	参照
IP会議ホンマネージャーをバージョンアップできない	<ul style="list-style-type: none"> IP会議ホンマネージャーが使用中で、タスクトレイに最小化されています。 → タスクトレイを確認し、IP会議ホンマネージャーを終了してください。 	62 ページ

索引

英数字

3者通話 41, 42
CPM電話帳 20, 45
IPアドレス 68
IPアドレスモード 67
IP会議ホンをマネージャー
アンインストール 12
インストール 9
起動する 13
設定を変更する 61
バージョンアップする 72
パソコンを接続する 11
ライセンス登録をする 10
KX-NT700電話帳 20, 45
LCD 66
Outlook電話帳 20, 45
RTP ToS Field 70
RTPパケットサイズ 69
RTPポート番号 (Max.) 70
RTPポート番号 (Min.) 69
SIP ToS Field 70
SIPパスワード 68
SIPプロキシサーバ IPアドレス 68
SIPプロキシサーバ ポート番号 69
SIPプロキシサーバ ユーザドメインネーム 68
SIPポート番号 69
SIPユーザID 68
SIPレジストラサーバ IPアドレス 69
SIPレジストラサーバ ポート番号 69
USBドライバー 11
VLAN ID 70
VLAN Priority 70

あ行

アプリケーション共有 58
オールデータ リセット 70
音量を調節する 42, 44

か行

回線種別 66
回線選択 66
会話速度 44
画面
操作パネル画面 29
通話画面 24

電話帳画面 19
メンテナンス画面 27
履歴画面 21
キー確認音 66
言語 65
困ったとき 73

さ行

再起動 63, 71
削除する (電話帳) 49
削除する (履歴) 53
サブネットマスク 68
時刻 65
時刻表示モード 65
システム状態確認 65
システムデータ リセット 70
修正する (電話帳) 48
受話レベル補正 67
情報の保護 8
初期化 63, 70
スピーカー音量 44
セキュリティ 8
操作パネル 29
SDアイコン 31
USBアイコン 31
キャッチボタン 29
クリアー/ミュートボタン 29
決定ボタン 30
再ダイヤル/ポーズボタン 29
スピーカーホンボタン 29
ソフトボタン (【F1】、【F2】、【F3】) 29, 32
ディスプレイ 29
ナビゲータ/音量ボタン 29
発信回線表示 (IP、TEL、PHS、PC、
USB-AUDIO) 31
マイクノイズカットボタン 30
メニューボタン 30
戻るボタン 30
操作パネル画面 29

た行

ダイヤルポーズ 40
着信音 66
着信音量 42, 65
着信拒否 42, 43
通話画面 24
通話履歴クリア 70
データを削除する 70

デスクトップ共有 58
デフォルトゲートウェイ 68
電話帳 45
 削除する 49
 修正する 48
 バックアップする 50
 転送する 50
 電話をかける 48
 登録する 45
電話帳画面 19
電話帳クリア 70
電話をうける 42
電話をかける 40
動作環境 9
動作モード 65

な行

ナンバー・ディスプレイ 67
ネットワークカメラ 56
ノイズを減少させる 44

は行

日付 65
フラッシュタイム 67
ポーズタイム 67
保留手順 69
ホワイトボード 59
本体の設定を変更する 63

ま行

マイクミュート 16
ミュートする 44
メンテナンス画面 27

や行

優先コーデック 69

ら行

履歴 52
 削除する 53
 電話帳に登録する 52
 電話をかける 52
 分類して表示する 55
履歴画面 21

わ行

話速変換 44
割り込み着信 42, 66

- 本製品の使用は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。
- This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

便利メモ (おぼえのため記入されると便利です)

お 買 い 上 げ 日	年 月 日	品 番	KX-NCS7101N
販 売 店 名		電 話 ()	—
お 近 く の 販 売 会 社		電 話 ()	—

パナソニック システムネットワークス株式会社

〒153-8687 東京都目黒区下目黒二丁目3番8号 電話 03-3491-9191

© Panasonic System Networks Co., Ltd. 2009

PNQF1001YA KK0709DW1030